明治三十七年五月七日第三種郵便物認可（每月一回一日發行）

第拾壹巻
第壹號

要目

女子青年界第十一巻第一號

目次

YOUNG WOMEN OF JAPAN

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume XII　　January, 1914　　Number 1.

日本基督教女子青年會

目的

日本全國の諸學校及び市邑に於ける青年女子の間に基督教女子青年會を設立し其一致聯合を圖り以て萬國基督教女子青年會と連絡する事

左の事項を奬勵す

一、青年女子の間に基督教的智識を普及し彼等を導き基督耶蘇を救主として信奉せしむる事

一、青年女子の靈的生命を涵養し獻身的行爲を勵し其智識社交身體の發達を圖る事

一、青年女子をして萬國に基督の王國を擴張せしむる事

會友

一、基督教女子青年會未設の地或は學校に於て本會の主旨を賛助し事業を奬勵せんと欲する者を以て本會の會友とす

一、會友の種類及會費は左の如し

通常會友　年　金壹圓　維持會友　年　金貳圓以上

一、各會友には本會機關雜誌「女子青年界」を送附す

一、會友たらんと欲する者は本會の本部に申出づべし

事業一班

一、事務　支部を督勵し全國に本會主義の普及を勉む

一、巡廻訪問　本會幹事を派遣して支部を奬勵し或は地方の巡廻視察をなさしめ本會の發展を圖る

一、出張講演　廣く一般女子の需に應じて講師を派遣す

一、機關雜誌　月刊「女子青年界」を發行し靈性智識の資に供す

一、紹介部　一般女子のため諸般の紹介をなす

一、寄宿舍　東京市內に青年女子の爲め監督寄宿舍の設備あり將來他の都市にも設立せん事を期す

一、宿泊所　外國婦人の要求に應じて東京赤坂區檜町十番地に宿泊所を設け併て日本の眞相を紹介す

一、夏季修養會　毎年夏季に於て山水明媚の勝地に集會を開きて專ら婦女子の修養を圖る

基督教女子青年會本支部及寄宿舍位置

本部

日本基督教女子青年會本部　東京市牛込區田町三丁目十二番地

支部

東京基督教女子青年會　東京市麴町區三番町四十一

廣島女學校青年會　廣島市上流川町

同志社女學校青年會　京都市上京區今出川通

プール女學校青年會　大阪市西區川口町十二

ウヰルミナ女學校青年會　大阪市東區玉造

札幌女子青年會　北海道札幌區北四條北星女學校內

宮城女學校青年會　仙臺市東三番町

クリスチアン女學校青年會　宇津宮市二條町七十二

フエリス女學校青年會　横濱市山手町一七八

共立女學校青年會　横濱市山手町二一二

女子英學塾青年會　東京市麴町區五番町十六

女子學院青年會　東京市麴町區上二番町三三

青山女學院青年會　東京市青山南町七丁目一

青山女子手藝學校青年會　東京市青山南町七丁目一

女子傳道學校青年會　東京市小石川區指ケ谷町八四

神戶女學院青年會　神戶市山本通四丁目

金城女學校青年會　名古屋市東區白壁町四丁目

盛岡女子青年會　岩手縣盛岡內丸タピング方

德島女子青年會　德島縣德島市富田浦仲町ミスリツン方

横濱女子青年會　横濱市本町五十一

寄宿舍

第一寄宿舍　東京市牛込區納戶町四十五番地

第二寄宿舍　東京市小石川區水道町(安藤坂)

外國婦人宿泊所　東京市赤坂區檜町(乃木坂)十番地

女子青年界　第十一巻第壹號（大正三年一月一日發行）

會説

新しき歌

河井道子

『過去の歴史を活用せよ既往を回顧せよ、死んだ兒の年を數へよといふは基督教である。』と或先生が申されました。然るに基督教信徒のよく引用致します辭句、即ち『我たゞこの一事を務む即ち後に在ものを忘れ前に在ものを望む』とはポーロの言葉で御座います。此二つを對照しますならば、一見如何にも矛盾した如く思はれますが、能く玩味致しますれば同じ眞理より湧出た思想で一心同體といふべきものと思はれます。つまり前者無くして後者の悟道に入る事は出來ません。又ポーロの此句を引用するものは宜しく其前後を熟讀しなければ必ず誤解を來すものであります。彼が何故『後に在ものを忘れ』ると云ひ、又た『前に在ものを望む』といひしは何を望みしか、其を辨へずして、たゞ忘舊或は迎新の思想を言表したる句として引用すべきではありません。新年を迎ふるに當り過去一年間の成功失敗、利害得失喜悲憂樂等を謹んで回顧するの必要があるので御座います。

「新年」といふ聲を聞きますと讀者は必ず各自の幼年時代の追懷が多い事であります。私共お互に婦女として『もう何數寢たらお正月』と指折り數へて、突けもせぬ羽子、羽子板を翫び、皹より血の流るゝも忘れて鞠お手玉に餘念なく新春衣の嬉しかりし振分髮の昔日を偲ばない者がありませうか。其時代は年の新まるが嬉しくお正月の待遠しかつた事は何に譬へんやうもありませんでした。子供に如何で年末になつて過去一ヶ年間の事が回想せられませう唯々嘻々として先を待焦れたのみであります。されど年長ずるに從ひ正月は眞に萬事改る如き嚴肅なる態度を以て之を迎へんとする時代にありては必ず過し月日を思はずには居られません。もし我等にこの回顧といふ所念が缺乏し、跡は野となれ山となれと謳歌しつゝ墮落的樂天主義を稱揚しますならば此は精神界の醉狂人沙汰と言ふべきでありませう。如何にしても吾々は過去を活かしむる樣にしなければ將來を活用し或は神聖に樂しむといふ如き事は出來得べき事で御座いません。先づ是を我々の心靈上に宛て嵌めましても同樣で。新しき生命に入んとする者は悔改むべき必要があると聖書に懇々教へられてありますが、救に入らん者は己が罪を省みて其恐るべき事を知る必要があり、心の淸き事を希ふ者は己が汚れを認めて之を洗はれん事を希ひ、良友に交らんとせば惡友を捨て、神を信ぜんとせば過去の不信の罪なる事を悟らなければなりません。

基督教は實に「新しい」といふ思想を澤山に教へて居ます。此新しいといふ形容詞は今日の社會には新規に作られし辭句の如く思はれて居ますが、基督教では極舊い詞であります。新らしき生命。新たに造られし者。新らしき歌。新らしき名。新らしき都等實に聖書中に現はれて居るものは澤山であります此新らしき境遇に入る者は皆過去を活して既往を省るに非ずんば這入る事は出來ないものになつて居ます。私共迎年に當り僅か過去一年間に於て己が受し處の恵を深く思ひ之を神に謝すると同時に、我々

の恩人友人等を思出て、又一方には謙遜なる態度を以て己が成功或は進歩せし點あらばこれ等を感謝し更らに利己的なりし事、人々に迷惑を與へし事、失敗せし事、罪を重ねし事を神に懺悔し人に對しても謝すべき事は之を謝罪し、新年は如何にかして是等の弱點、缺點を改めん事を心に誓ひ、神の助に依る事が最も善き新年の準備になります。畢竟此心得があつてこそ、新しき年を迎へる喜びも勇氣も湧き出て參ります。恰も罪を悔改めて新しき生命に入る樣なもので御座います、既往はもう仕方がない放つてをけ、來ん年こそは斯う仕樣、彼仕樣と、徒らに輕薄なる思慮で計畫致しますのは前にも言ひし如く子供の時代を未だ過ぎない人で御座いませう。是等の者は進歩の見込もなく、前に在るものを望む喜びを受け得る價値のないものであります。實際新しき衣裳を心から感謝して身に着ける者は、平日古き着物を繕ひ直して大切に身に纏ふ者で御座います。又新しいのが買へるから是は如何てもよいといふ者には一枚の着物が新調せられたとて有難いと感ずる事はありません。物質上に於ても斯ういふものであります。况して精神界に於ましては去年の事は野となれ山となれ主義を稱へて、漫然として新年を待つ者は決して其新年を貴重に使用する者ではありません。

然は云へ、我々は過去の事のみに憂慮らふは却つて罪で御座います。基督は『明日の事を思ひ煩ふ勿れ一日の苦勞は一日にて足る』と仰られました。過去の罪惡は如何に悔ひても之を取直す事は六ヶ敷い事で御座います。夫故に我々は誠心より悔改めるならば罪の赦免を得るといふ希望を與へられたのであります。世には往々神を知らで前非を悔ひ自殺した人があるではありませんか、彼等は過去にのみ氣が引かれ今一歩進みて、眼を轉じて遙の希望を見る事が出來ざりし人であります。

『それ神に循ふ憂は悔なきの救を得の悔改に至らしむ然ど世の憂は死に至しむる也』との聖句があります。そこで私共は言ふに言はれざる 喜 を神に於て

持つ者であります。かくてこそ將來を喜び、來る年を望みパーロの言の通り『過去の罪の赦を得て、穢し、耻べき昔を忘れて、キリストの賜ふ褒美を得んと標準に向ひて進む』事が出來ます。こゝに始めて新しい歌を唱ふといふ意味が解つて參ります。詩篇や以賽亞書を見ますと新しい歌といふ詞が何と澤山御座いますか、是迄偶像に唱へし歌を全く捨てゝ新しき歌をエホバの神に唱ふといふ意味もあれば、又罪惡を喜びしに代へて高潔清廉の思想を以て讃美する意味にも勿論なつて居ります。

私共もどうか新しい歌を唱ふ新しき心を新年に神より與へられ度いものと思ひます。我々は新年なるが故に新しくなるのではありません。基督を信仰するものは日々に新なのであります。然し又暦が改まりますと恰も學生が四月新學期に入つたかの樣に、萬事改つた樣な感が致しますのは當前の事で御座います。かゝる機會を精神上にも活用して新しいと云ふ眞意が一層深く會得される事を祈らうではありませんか。もし過去に利己を我歌として歌ふて居た者は、犧牲、献身を以て夫れに代へ、嫉妬、邪憂、冷淡が常に唇頭に上つて居たならば、同情、忍耐、仁慈が夫れに代つて歌はれ、怠惰は勤勉に、不義は正義に、傲慢は謙遜に、汚穢は清廉に、悲觀は希望に、不信は信仰に、批評は親切に、不滿は感謝に、怨恨は慈愛に代つて我心は神の住家となつて新しい歌を歌はしめ給へと祈り度いと思ひます。我々が新年に對して斯く祈禱する事が出來ますならば、此大正三年を迎ふる其希望は旭日の東天に昇る如きものであります讀者諸姉よ、願くは過ぎし大正二年を回想し之を善用して新しき年を迎へ個人のため、團體のため、國家のため、世界の爲に大なる力ある祈禱を捧げて勇しく前進の途に乘出し給はんことを祈つて止まない次第で御座います。

きみなるエスよ
あらひきよめて
わが日わがとき
きみのみために
こがねしろがね
いまさゝぐれば
われのこゝろを
みむれのまゝに

けがれしわれを
めぐみをたまへ
わがもののみな
もちゐたまひね
ちゑもちからも
みなとりもちゐ
みくらとなして
しろしめしてよ

—(讃美歌二百六十三)—

近世女性の典型

（關西女子養會ニ於ける講演）

小山東助

現代婦人の典型と題して置きましたけれども、先づ昔の話から始めまして、希臘時代の女性、中世時代の女性、それから現代の女性といふ順序にお話をいたす積りであります。結局は唯今河井先生がお話になりましたやうなことを繰返すに過ぎないので御座います。

佛蘭西の哲學者ベルグソンの申しました言葉に、總ての萬有は絕へず流轉して居る、平たく申しますならば、吾々の目で見る天然自然の中には一つも一定不動なものはなく、絕へず移り變つて居るのであります。人間の思想と云ふものも、人間の性格と云ふものも絕へず新たになりつゝある、日々夜々新たになりつゝある。昔善いと云ふことは必ずしも今日も善いことではない、今日善い事も必ずしも將來善い事ではない、絕へず變りつゝあると云ふ意味を自ら其中に含んで居るのであります。人間の生命と云ふものは決して今日一日限り存在するものでなく、限りなき將來まで續いて居るものである、生命は恰かも流るゝ水の如きものであつて之を斷切ることは出來ない、何故ならば滔々と流れて一貫して居るからであります。吾々がベルグソンの申した萬有は流轉するといふ眞理を思ふ時に、たゞ其變化といふ方面だけを考へてはなりません、人間の生と云ふものは限りなき命、一貫の流れてある、之を斷切ることの出來ないものであると云ふ他の方面をも考へなければなりません。婦人問題を考へるにつきましても

近世の婦人と云ふものは突如として出て來たものではない、是は幾千年來の人類の歴史が生み來つたものでありまして、人類の歴史は盡きざる川の流であるが、比較的新しい所が近世の婦人と云ふことになるのであります。歴史を離れては近世の婦人と云ふものを正當に理解する事が出來ません。

人類の歴史は極めて長いものでありますが、之は大體の上から見て、凡そ三つに區分することが出來ます。第一は希臘の時代、細かな實例を引いてお話する時もありませんから神話をかりて申しますが、希臘の神話に、有名な三人の女神があります。此三人の女神は偶ゝ、三つの異つた性質、氣性を表して居ります。一人はヘラと云ひ、一人はアテイネ、今一人はアフロヂテと云ひます。第一のヘラの神と申しますのは地上の神、母の愛を有つた神、萬物を需す所の神であります。夜は露となつて草木を育てる所の神であります。第二のアイテイネと云ふのは、是は光を司る神様であります、即ち、光、命、智慧等を以て人類を支配する力を有つて居つた、智慧と命との神様と申して宜しい。手には矛と楯を持つて女神でありますけれども、甲を戴いて居ります。楯を持つて居るのは人類を保護することを意味するのであります。矛は人類を支配する力を示したものである。第三のアフロヂテと呼ぶ神様は愛の神であります。即ち肉體の美はしきを現した神様であります此三つの神様が……希臘には外に澤山の神様がありますけれども……最も勝れて美しい女神と認められて居りました。昔話にパリスの裁判と云ふことがありますが、能く味つて見ますと、何千年來變りない所の人情を現して居る。或る神様が婚姻をすることになつて八百萬の神々を呼んで祝の宴を開いたのでありますが、いろ／＼の神様の中に唯一人エリスと云つて喧嘩好きな、爭ひ好きな神様がありましたがエリスのみは祝宴に呼ばれなかつた。すると其喧嘩好きな神様は深く怒つて、皆んな樂しんで居る宴席の眞中へ一個の麗しい林檎を投込みました。林檎は

皆んなの圍んで居る食卓の上に落ちました、見ると金色の燦爛たる林檎である。その上に『最も美しい方へ』と書いてあります。是は最も美しい方へ上げると云ふ意味であります。其處に女の神樣が澤山集まつて居りましたが、誰も自分が美しくないとは思はなかつた。中にもヘラとアテイネとアフロヂテとは自分こそ此林檎を受くる資格があると自ら推薦したのです。三人一緒に同樣な主張を致しますから、何人も之を決定し得ない。其時トロイの國王パリスは東方で牧兒となつて居りましたが、三女神は終にその裁判を求めました。且つパリスの歡心を得んが爲めに、三女神は思ひ／＼の献物を約束しました。ヘラは、私に若し其林檎を下さつたならば其酬ひとして、亞細亞の領土の半分を捧げます、と云ふことを申したのであります。パリスは非常に喜んだのでありますが、未だ滿足ではない。するとアテイネは若し私に其立派な林檎を下さるならば、私の有つて居る智識の鍵を捧げますと云つた。パリスは非常に喜んだ、智識は自分の欲する所である、萬有を支配するものは智識であるから最も願はしい。然るにアフロヂテは最後に、お伽噺のやうでありますけれども、申しますには、私は貴下に世界で一番美しい佳人を献上する、亞細亞の帝國よりも、智惠の王國を開く鍵よりも一層慕はしい世界第一の佳人を献上すると云つたのであります。パリスはアフロヂテの献げ物を他の孰れよりも喜びました。林檎はアフロヂテの手に歸したのであります。希臘は或る意味に於ては、アフロヂテに對して餘りに多くの讃美を捧げ餘りに崇拜し過ぎたと云ふ感があります。

それで此三女神が希臘の婦人の典型でありますが希臘の末に方つて基督教が這入つて來ましたから、希臘人の未だ嘗つて理想せなかつた新しい婦人の典型と云ふものを起したのであります。キリスト教はヘラの神にも、アテイナの神にも、又アフロヂテの神にも現れなかつた所の、新しい清い典型を世の中に示したのであります。それは何かと申しまするな

らば、此希臘の典型を三つに分けた因縁によつて、基督敎の典型をも三つに分つならば、聖書の中に能く婦人の代表的人物としてキリストの膝下に近く行つた、マリヤとその姉のマルタの話が出て居りますが、此姉妹は各々特殊の典型を代表して居ります。マリヤは信仰の化身であります、マルタは信仰の厚いと云ふ方面でなくつて、今日の言葉で言ふならば社會的、活動的——善い事の爲には全身、全力を擧げて盡すと云ふ方であります。是は歷史を通じてキリスト敎會を支配した所の精神であると云つても宜しいであります。或る多くの美しい女性が、此世の煩ひから逃れて寺院の中に神を讃美して居つた、是はマリヤの精神を受繼いだので、其の敎を人類のうちに比べて見まするならば極めて少數であつたかも知れませんが、此の少數の女性が大いなる世の光であります。併しながら單にマリヤのみ善いのではありません、寧ろ、マルタの方がマリヤよりもキリストのお氣に入つて居つたかも知れません。何故ならばマリヤは未だ主の御許に寄つて說敎を聞かなければならんやうに思はれました。然るにマルタは人世の何物であるかを知り、自分で爲すべき事の何事であるかを知つて、主の御許へ行つて御說敎を聞くよりも、寧ろ人を誘ふて來て、人々の心の暗を開くべく働いて居ります。マルタは肉に於てマリヤの姉さんであるばかりでなく、靈に於ても姉さんであつたかとも思はれます。マリヤの信仰よりも更に大なる信仰を有つて居つたマルタの行動は一層尊敬すべきものでありますまいか。其處に非常な味ひがあると思ひます。世に基督敎の執られた所の献身的の働き社會的運動によつて、人類の憐れなる者を助け、痛ましき者を救ひ、種々の煩ひを去つて種々の慰めを與へた所のマルタの精神と云ふものは實に尊敬すべきものであります。寺院に籠つて、神を讃美して居るのは淸い事ではありますけれども、塵の中に飛込んで、救ひの手を下すことは更に淸い事であると思ひます、併し吾人は聖書を通じて、又基督敎の發達

を通じてマリア及びマルタの外に第三の典型を認めます。夫れは申すまでもなくキリストの母のマリア後にマドンナとして現れた女性であります。聖母マリアの人類に與へた感化の偉大な事は、前のマルタマリヤより更に大なる者があります。マドンナの現した所のものは何であるかと申しますと、信仰の精神のみではない、社會的活動の精神のみではないマドンナは其懐に嬰兒の基督を抱いて母たるの特性を示して居ります。其母も單なる哺育の母と云ふではなく實に世界の人類に取つて大なる光となる所の、己れより更に大なるものを多數育んで居る所の母の代表であります。マドンナが自分の胸に懷いて居る所の一個の嬰兒は、其れを懷きつゝあるマドンナよりも更に大なるものである。即ちマドンナの繪姿の吾々に示す所のものは、自ら生出したものが測り知ることの出來ない神聖なものである、實に無限無量の價値であると云ふことを吾々に語つて居ります。言葉を換へて申しまするならば、世界で最も美しい、氣高いもの、總ては此女性の懐から現れ出づるのである、女性は最も美しい、氣高い所のものを造りつゝあると云ふことをマドンナの繪姿が吾々に示して居るのであります。吾々がアフロヂテの像の前に立つた時には、吾々の心は魔睡薬を飲んで陶然と吾を忘れて、即ち美に醉ふたやうな心持になりますか、マドンナの像の前に立つた時は最早や吾々は美に迷ふて居るのではない、吾々の目は明かになつて、心は清くなつて來る、マドンナ程吾々人類の心を深く開拓したものはないと信じます。是と同時に基督教の女性はマリヤよりも、又マルタよりも、マドンナに於て最大の典型を得て居ると私は信じて居ります。

然るに基督教が段々後世に發達して參りまして、中世の時代を經過して更に近代に至る百年許りの間に、即ちモダーンと云ふ時代に於て如何なる女性の典型を吾々に示しつゝあるかを見なければなりません。私は此時代に於て確かに基督教の女性の典型と

打つて變つた他の新しき女性が生れつゝあると云ふことを認めずには居られない。そこで、モダーンの時代に現れた女性は之を仔細に見て價値の無いものであるかと云ふに決して左樣でない。然らば何う云ふ價値を付くべきであるかと云ふと、それは非常なる疑問であります。此事に付ては私は五ッ六ッに分けてお話をしたい。第一にモダーンに現れた典型と申しますのは、智惠の力の勝つた女性が段々多くなりました。其最も生きた代表者を求めるならば、マダム、キユリー。マダム、キユリーはラヂユウムを發見した婦人であつて、此點に於ては世界のオーソリチーであります。つい先年も倫敦でラヂウムの大會がありまして種々なる討論がありました、マダムキユリーも出席しましたが、其會に於て或る英國の教授がマダムキユリーの說に反對しました。そこでマダムキエリーが直に佛蘭西へ歸つてしまつたと云ふことであります。何故歸つたかと申しますと、其英國の教授の指摘した所が果して其通りで自分の研究に缺點があるか何うかと云ふことを、一日も早く國へ歸つて確めなければならんと云ふので、反對論の出るや否や直ぐ佛蘭西へ歸りました。實に研究心の盛んな精力の盛んな婦人であります。從來は科學的の研究と云ふことは男子でなければならん、婦人には研究的能力など無いものであると云ふ風に相場を極めて居たのでありますが、是等によつて見ますと決して婦人に斯かる智力の無いのではなく、未だ開拓されないのであると思ひます。物理でも化學でも皆さんが持つて居る能力を發揮すれば、澤山のマダム、キユリーが生れるのであると思ひます。一個のマダム、キユリーの現れたのは即ち婦人に研究的能力が有ると云ふことを證明したのであります。即ち婦人に取つて大なる福音であると私は信ずるのであります。此秋東北大學の理科へ三人の女の方が入學しました。又此春には物理化學を長井博士指導の下に研究をして、文部省の檢定試驗を受けて合格した四五名の婦人がありました。半分は高等師範、半分

は女子大學出身かと記憶します。兎に角斯の如き婦人が出て、其働きによつて天地萬有の秘密を開いて人類に多大の貢献をすることが出來ると云ふことは婦人が目を醒したので、今後幾多の婦人が出て來まして、或は教師として其の中に立ち、或は專門の硏究に一生の精力を注いで一大發見をすると云ふ事は之を豫期してもよからうと思ひます。婦人の典型も古來數多ありますが、是は近世に至つて初めて現れた婦人の新しい典型であると私は信ずるのであります。必ずしも智識的の婦人と云ふのはマダムキュリーの樣に物理學の方面に現れるとは限りません。昨年日本にも見えました經濟學者のミセス、ウエッグも良人に劣らない位の學者であります。女子が次第に目を開いて覺醒して來ますと必ず出て來る筈であります、女子の智惠が開けて來ると同時に從來男子が發見し得なかつた所を新に發見し出すかも知れんと云ふ希望があるのであります。マダム、キュリーが現はれて、是れまで男子の發見することの出來なかつた所のラヂユームを發見したのでありますーー勿論亡くなつた良人の力もありますけれどもーー即ち、男子の能はざりし所を爲したのであります。天然自然は幾多のキユリーを生む、誰れかキユリーの如く自然界の秘密を掘出してくれゝばよいが、と云ふ風になつて居るのであります。妖怪物語にあるやうな、お姫樣が、囚はれて居つて、誰か勇者が來て自分を發見して囚れから解放つてもらひたいと思ふて居るのであります。其處へ化學者や物理學者が現れて物理學の眞理を發見する、醫學の眞理を發見する、化學の眞理を發見するのであります。エマーソンの思想を籍りて申さば、凡て我々は自分の身體の内に在るものは知ることが出來る、吾々が酸素のことを研究すると酸素のことが分ると云ふのは、吾々の身體の中にあるからであります、酸素が酸素を知ると云ふのは同類相求むるからであります。男と女とは各々生理組織をも異にして居ますから、男子の有たぬ元素を女性の有て居る如く、男子の發見し得ぬ眞理を女性が發見するかも知れません。（未完）

異性に對する理想

（關西女子修養會に於ける講演）

加藤直士

異性に對する理想と申しますのは、男女が互に其要求する所の性格、即ち男子が女子に向つて斯くあれかしと望む所、女子は亦男子に向つて斯くあれかしと望む所でありますが、其性格とは如何なるものであらう、我内に在る其要求が理想となつて常に目の前に燿いて居るのでありますが其理想とは如何なるものであらうかと云ふ問題で御座います。是は今日何人も考ふべき價値ある問題であります。兩性が互に要求する所の性格は偶然ではない、餘程深い深い根源がありまして、根源から流れ出づる心の遣瀨ない願ひである、憧憬である、渇望である。其互に要求する理想の湧いて來る泉は何處であるかと考へて見れば、男女の互ひの性格上の特徴であります。

男子は男子として、女子は女子として授けられて居る所の性格が生れながらにして在る。天地の始めより、否、更に深く考へて見れば宇宙の根底に此二つの性格が横はつて居る。支那人は之を陰陽と申しまして伏羲氏以來八卦、易と云ふやうな學問は此陰陽の理から編出したものであります。西洋にも之に似寄つたものが希臘時代にあります。之を科學的に申しますれば、地球の兩極に電氣や磁氣の働きが積極と消極と云ふ二つの反對なる、而して相牽く所の陰陽の性質を現はして居ります。男女が相愛する、相求むると云ふことが、唯だ淺薄に之を考へますれば小説の材料にしかならないけれども、之を深く、哲學的若くは宗教的に考へて見ますると、世間の凡

ゆる問題か、此一の道理によつて說明されることになるのであります。併し玆には左樣に深い東西思想界の、哲學上の話などは申す積りではないので、今日は單に男女間にあらはれてゐる理想に就て語りたいと思ふのでありますが、順序として先づ男女の性格を言つて見なくてはなりません。

此處て男女の比較論を申しますのは私に取つて不利てある、男子の方は此處に二三人しか居ない、人數の上から見て既に負けて居る、此處て女子の批評を試みて、お咎めを蒙りますと甚だ困る譯てすが、併し是は、乃公は男だ、貴女方は女てあると云ふ對抗的の意味てなしに、第三者の位地に立つて一つ比較して見やうと思ひます。それが話の基礎でありまして、其處から出立するのてあります。男女の性格の互に違つて居る所は、古來多くの哲人、宗教家、思想家か書いて居るのて、何も玆に新しく發見する必要はありません。御承知てもありませうが、彼の有名なレッキーと云ふ人の書きました『歐羅巴道德史』と云ふのがある、此方面に於ては一番纏りした書物であつて誰も能く之を引用します、此書物を繙いて見ても『婦人の位地』を云ふ題て詳しく論じて居ります。婦人の位地が古來段々發展して來たことや、婦人の理想が始終變遷して居ることや、即ち或る時代には斯くの如く、或る時代には斯う云ふ風に進んで來たと云ふことを述べて、其處にも矢張り男女の比較論がありますが、其說は甚だ隱健てある。先づ體力の方に於ては男子が勝つて居る、何故なれば力がある、女の相撲取りがあつても梅ケ谷や常陸山のやうにはなれぬと覺悟しなければならん。昔軍人として强い女がありましたが、それは珍らしい。先づ體力と云ふことに就ては男子が優つて居ると謂はなければならん、是はお許しなさるでせう。次は智識です、智識の上に於ては此處に河井先生のやうなお方も居り其他智識上に非常に發達して居る方が澤山で、是亦甚だ比較に困るのでありますが、併し大體に就て比較して見ますれば、智識と云ふ點に於

ても古來の歴史が男子の勝つて居る事を示して居る又智識ばかりではなく、美的なるもの、例令へば繪畫の如き、彫刻の如き……殊に彫刻の如きは男性的でありますが……音樂の如きものでも、非常な有名な音樂者は女子に多いか又は男子に多いかと云ふに意外にも男子に多い。文學等に於ても、或はブラウニング夫人の如き、或はジョーヂ、エリオツトの如き、近代に於てはエレンケイの如き、ストツトネル夫人やアダムス孃の如き、男子をして後へに瞠着たらしむるやうな有名な人が出て、其技倆才能を發揮して居りますけれども、之を概して申しますれば、文學上でも矢張り男子に一歩を讓つて居ると云ふことが言へるのであります。所が第三の論點に移つて道德は如何であるか。道德と云ふことは、二つの方面から見る必要があります。一は積極的の强い方面、一は消極的の受身の方面、即ち忍耐、柔和、溫順と云ふやうな方面であります。此の剛の方面に於ては男子は勝つてをるけれども、今一つの柔の方面に於ては固より女子の方が勝さつてをるやうであります。そして道德的に最も大切なる性質は忍耐持久と云ふ事で、如何に立派な德行でも永續の出來ない一時的のものであれば、其價値は極めて少ないのでありますが、女子は此方面に於て遙かに忍耐力が强いので道德上餘程に信用の出來る、安心して信賴する事の出來る性格を持つてをります。表面に現はれた行爲から見れば、昔から今日に至るまで甚しく惡い事をする、假令へば各種の犯罪の行爲をなす者は女子の數が非常に少い。其反對に隱れたる所の多くの善を爲し、人知れず立派な善行をなしをる者は女子の方に其數甚だ多いのであります。かく考へて見れば少くとも道德的方面に於ては女子は決して男子に劣ることはなく、寧ろ堅固なる道德性は女子の方に多くあると云つてもよからうと思ふのであります。

次に第四の點は宗敎的方面であります。女子の宗敎心は男子に比して甚だ深い、何うしても女子の方が宗敎的に優れた素地を有つて居る、資格を有つて

居る、此方面から云ひますと基督教の歴史が何よりの證據になります。聖書を繙いて見ますと能く分ることてありますが、路加傳の開巻第一に神の使の言を信じないで罰せられて唖者になつた人は何てあるか、是はザカリアと云ふ男子であります、所が其妻のエリサベスは非常に强い信仰的態度を示した。處女マリヤの讃美した言葉の如きは實に立派な詩てありまして、其信仰に於て如何に彼女が勝れて居つたかと云ふことが分る。ペテロの如きは時々失敗を致しまして、凡人ならば失望落膽して到底起つことの出來ない程キリストに叱られましたが、新約全書の何處を繙いて見ても婦人のお弟子がキリストのお叱りを受けたことがない、偶まマルタが主の御心をいためたこともありましたが、之れでもマルタよ〱と思遣りのあるお言葉を受けてをり、姉妹マリアは人生の第一義を捕へ得た者として主のお褒めを受けて居る。復活の主を初めて見た所のものは誰てある彼のマグダラのマリヤマてはありませんか。其復活の主を見たと云ふことは何を示して居るかと云ふに、婦人の弟子の中にキリストが既に復活してお居てなさつたことを示してをる。其外キリストをして驚嘆せしめた所の信仰の發揮は婦人に於て多く見ることが出來る。夫の三十八年血漏を煩つた女の如き、主は斯くまてに信仰があるとは思はなかつたと云ふ嘆聲を漏らされたのであります。左ればにや初代の基督教會から今日に至るまで、婦人と云ふものと、基督教會との關係は極めて密接であります、即ち教會の發展して行く所の原因は婦人の力に待つ所甚だ多いのであります、若しも教會と云ふものゝ中から婦人の力を取去つてしまつたならば……無論男子も同じ事てすが、併し男子の爲して居る所の事業からても、婦人の隠れたる力を引去つてしまつたならば………後は殆ど零である、女子の方が宗教的に堅固な信仰を有つて、自分の使命をチャンと果して教會の中樞となつてをる、表面には表れんけれども、教會に於て抜くべからざる力となつて居るのであります

中世紀に於ける彼の迫害の歴史を讀んで見ますと、正に是は涙の種でありますけれども、他の一面に於ては六尺の男子をして、慚悔せしめる如き強い信仰の力が女子によつて現はされました。彼等が殉教者となつて甘んじて水火の中に入ると云ふ強い信仰の力は實に男子をして愧じしめたのであります。

斯くの如く女子の特殊なる宗教的力が歴史に於て燿いて居るのであります。何故であるか。元來基督教は婦人の位地を非常に高めて居る。婦人の世界に於ける地位が基督教によつて段々高められ其價値が段々認められました。婦人の人格と云ふものは、異教の國に於きましては、殆ど男子の所有物の如くてありましたものが、今や其人格が認められ、立派に男子と對等の地位に進みつゝあるのは、是は全く基督の力である。歴史家が證明してをる事實であります。何故然う女子の地位がキリストの爲に高められたかと云ふと、素より其處は基督教の教理が與つて大に力あります。基督教の教理は云ふまでもなく、神を天の父とし人類を同胞兄弟として教へるのである。兄弟には上下のあるものではない、兄弟姉妹として神の前へ立つ時は平等である。併し如何に教理が公平に出來て居ましても、或る宗教に於ては依然として女子の位地が低い、少しも上がらないのであります。斯樣な所を見ますと或は教理だけではないそこには他に深い理由があると思ひます。

抑も女子は何物を要求するか、男子に對して何う云ふ性格を要求するかと申しまするならば、女子は男らしくして優しい人を欲する、男らしい而して優しい人です。唯だ荒々しい荒くれ男で、亂暴で、力ばかり強い人ではいけない。勇氣とか剛健とかいふ事は立派な性格ではありますけれでも、それだけては婦人は滿足しない。非常に強い、男らしい凛々しい性格と同時に非常に優しい、花の上の露をも零さないと云ふ優しい性格てす。是は一言にして曰へば犧牲の精神てす。犧牲とは何てあるか、犧牲とは强い者が弱い者の間に自分を與へると云ふことてあり

ます。多くの財産も高い地位も場合によつては之を捨て、其愛する者の爲に盡すと云ふことに於て始めて犧牲の精神と云ふことが出來る。即ち非常に强い者が弱い者の爲に盡すと云ふことによつて犧牲の精神と云ふものが發揮されるのであります。此犧牲の精神は、取りも直さずイエス、キリストの十字架であります。基督敎は十字架の宗敎である、十字架の中に基督の精神が籠つて居る。而して其十字架の精神、言換へれば犧牲の精神が、女子の男子に向つて斯くあれかしと求めて已まざる所の性格でありますす是は唯だ道理だけてありません、敎理だけでありません。辱なくも主イエス、キリストが此犧牲の大精神を十字架の上に現したまふた。即ち女子が要求する所の男子の性格が立派に燿ける人格となつて其處に現れて居ります。之に對して滿腔の憧憬、滿腔の渇仰を注がざるを得んのであります。

古より今に至るまで有名な人物即ち偉大なる人格は皆な此の犧牲の精神に於て衆に勝れてをるのであります。アブラハム、リンコルンが何うして偉いかと云ふに、數百萬の奴隷を解放したと言ふことは固より偉い事業ではありますけれども、併し其れよりもモツト偉い事がある、其れは何てあるかならば、彼は唯だ一人の黒人の娘の爲に人知れず熱い涙を流したこともあり、又彼は一匹の豚の兒が溝の中に落ちて居つたのを見て其處を去ることが出來ないで自ら溝の中に下りて行つて其一匹の豚を救上げて行つたと云ふことがある。非常に小さい價値の無い此豚の兒に對して、彼は自分の身を忘れて盡したと云ふ此精神が詰まり彼をして南北戰爭の勝利を博せしめたのであります。表面に現れた所の事業は實に大なるものでありまするけれども、其大事業の底に潜んで居る所の其優しい心が即ちアブラハム、リンコルンの偉大を爲さしめた所以であります。

ジョールヂ、ワシントンも子供が川の中へ落ちて誰も彼れも躊躇して居つた時に彼は逸早く身を躍らして、全く自身の生命を賭けて一人の嬰兒を救上げ

た其精神が彼をして米國の獨立戰爭を爲さしめたのて、ワシントンの精神は此强さと優しさに在るのてあります。メーテルリングの『モンナ、ヷンナ』を見ましても、此點がよく現はれて居ります。今其筋だけをお話しますと、ピザと云ふ伊太利の町にギドーと云ふ司令官があります、ピザがフキレンチ軍の爲に包圍攻擊に遭つて、兵糧も彈藥も盡きてしまつて、何時落ちるか知れないと云ふ運命になつた時にギドーは自分の父のマルコーと云ふ老人を敵に遣はして和睦の談判をさせた、所が、敵の司令官がプリンチヷルンと云ふ人て、和睦の條件として持出したものは、ギドーの妻のモンナヷンナを唯一人て我陣營に今夜送るならば、ピザの圍を解くのみならず、數百輛の荷車の兵糧を彈藥とを與へると云ふ條件、そこてマルコー老人は自分の愛する嫁、自分の子息の愛する所の妻を敵に送ると云ふ條件を得て胸を抱いて歸つて來て其事を打明けると、ギドーは憤然として怒つた。此屈辱的な和睦は斷然出來ない、自分が死んてしまつて、三萬の民を屠られても此不名譽な和睦は出來ないと云ひ放つた。併しながら問題は一人のモンナヷンナを犧牲にするか、三萬の民を殺してしまふかと云ふことになるので、マルコーが其道理を說いたけれども、ギドーは容易に承知しないそこていろ〳〵相談した結果、それてはモンナヷンナの意見に隨ふことにして、此事をモンナヷンナに打明けて其意を聞いた、然るにモンナヷンナは私は參りますと云つた。ギドーは非常に憤慨して之に反對したけれども、遂にモンナヷンナは唯一人敵軍に行くことになつた。然るに敵將のプリンチヷルンは豈圖らんや、モンナヷンナの幼馴染て、昔は仲好く幼さ戀を夢みて蝶を逐ひ花を摘んだ人てあることが分つた。ヷンナはプリンチヷルンが自分を愛する爲めに地位も名譽も犧牲にしてしまつた所の其の犧牲の精神に感じて二人の仲に幼馴染の時の純潔なる戀が再び燃上つて來た。ヷンナが何故にプレンチヷルンの戀に動いたかと云ふと、これは非常に高い犧牲

を拂ひつゝ其犧牲を毫も自ら意識せざる所の純粹なる愛に感じたのである。是れやがて婦人の理想で即ち、強い者が弱い者に對する純潔無垢なる犧牲の精神に動かされたのであります。一言にして曰へば男らしくて優しい所の精神であります。

次に第二の點に移らなければならぬ、即ち男子は如何なる女子を要求するか。之れは女らしくして確かりした婦人である。此女らしいと云ふことは女々しいと云ふことではない。女と云ふ字を二つ書くと女々しいとなりますが、それではいけません。女は女子の特徴である所の柔順、忍耐、謙遜等總て女らしい德の輝いて居るのを要すると共に確りした所がなくてはなりません。確りしたと云ふことは先づ第一に物事を判斷することの出來る智力が必要であります。昔の女のやうに何でも夫の言ふ通りになつて居るやうではいけない。或る問題に向つて相當なる判斷をすることが出來ると云ふ智力を備へて、且つ意思の鞏固なる性格、いろ／＼な事に向つて斯うと定めた所の事は、何處までも貫いて行くと云ふ氣力がなければなりません。それがなければ到底今日の男子を滿足せしむることは出來ません。昔から內助と云ふ言葉がありますが、是は家の內とか外とか云ふやうな意味ではありません、內助と云ふことは臺所の世話を燒くことのやうに考へる人もありますが是は違ふ。內助とは男子の心の中に這入つて助けることである。男子と雖も多く判斷に迷ふことがある複雜な世の中に處して活動の渦中に立つて居る男子には、却て判斷の附かない方面の事が多いのであります。其時相談對手になつて相當の意見を述べることが出來なければならん。即ち男子の心の中に這入つて助けるといふやうな此確りした性格は、殊に現代の女子に向つて要求されて居る點であります。

近代文學に現はれた婦人の性格に就きて考へて見ても、フローベルの『マダムボバリ』に出て居るボバリ夫人と云ふものは、一個感情の動物、肉の戀に囚れて居る憐むべきものであります。モウパッサン

の『女の一生のジャンといふ婦人の如きも全然て人格が無い。所がイブセンの小說に出てをる婦人になつて來ると、非常に强い所の性格が現はれて居ります。『人形の家』のノラの如き突飛な强い性格がある或はマグダの如き非常な反抗的な性格が現はれてまゐりました。是は何を意味するかと云ふに、即ち婦人の覺醒てありまして、これまでは唯だ眞暗な所を他人に手を把られて步いて居つたけれども、今度は自分で自分の道を切り開かなければならんと云ふことになつて即ち醒めた所の婦人となつたのであります。併し唯だ之ればかりでは理想的の婦人と云ふことは出來ない。男子の要求する所のものは、即ち醒めて居つて物の判斷の出來る確りした性格を包むに優しい女らしい優美な性格を以てする處にある。

以上私は男女相互の要求を考へて女子は男子に男らしき優さを求め、男子は女子に女らしき强さを求めて居ることを說きましたが、此の兩方面の性格が我等の主イエス、キリストの御人格の中に共に圓滿完全に備つてをることを見るのであります。即ち吾々の主の御人格のうちには、父なる神を代表した部分と母なる神を代表した部分とがある。母なる神と云ふことは餘り申しませんが、父と云ふ言葉の中には母と云ふことが含まれてある。天の父と言ふ言葉のうちには神の父格と母格とは同時に含んで居らなければならない。キリスト敎は正義と愛、此二つの上に立つて居る。人生に於ては往々正義を代表した部分と愛を代表した部分とが不幸にして衝突することがあります。正義を貫く爲には愛を毀たねばならんと云ふこともある、愛を貫く爲には正義を破らねばならんと言ふこともある、是が即ち人間の弱點て人生のあらゆる不幸は此衝突から起ります。正義と愛と此二つの相伴ふべき所のものが相伴はないで却て相反抗してをる。即ち義理と人情が衝突して其處に人生の墮落、悲劇と云ふことが起つて來るのであります。然るにイエスキリストが其御人格によつて吾々に示し給ふた所の神の御性格のうちには、不義

罪惡に對して少しも假借し玉はざる所の嚴肅なる正義の力と、自らを犧牲にして十字架上に捧げ玉ふた所の優しき愛の力とがある。斯くイエス、キリストは正義と愛との二つのものを一つの人格のうちに包容して圓滿に調和し玉ふて入らつしやるのであります。そこで吾々はイエスキリストのうちに、婦人が男子に向つて斯くあれかしと求むる所と、男子が女子に向つて望む所のものとを二つながら見出すことが出來る。彼れのうちには實に神の母格が籠つて居る。神の父なる峻嚴なる性質のみならずして、愛なる優しさが輝いて居るのであります。此のキリストの愛は吾々を勵まし、吾々をして進步向上せしめて居るのであります。此世の中に於て、吾々の望む所の性格の美即ち圓滿なる人格美はキリストの內に之を見出すことが出來るのであつて、人生の完全無缺なる理想はそこに活ける人格となつて實現されてをるのであります。吾々人間は己が出て來りし源に歸るに非ざれば到底我が衷なる眞の理想を滿足することは出來ないものであります。聖オーガスチンは、彼れの祈に於て『オー、神よ、爾は爾御自身の爲に吾々を造り玉へり、されば吾等は爾に憩ふまで決して安心を見出すを得じ』と云つてをる。人類の理想人類の渴望、求めて已まざる人格美の完全なる實現は神のうちにのみ之を見出すことが出來る、而して其神を生ける人格として現はし玉へるイエスキリストに於て、吾々人間が常に憧憬する所の凡て理想を見出すことが出來る。吾々の理想は吾々が神を信ずる信仰に於て圓滿なる實現を見ることが出來るのであります。人間の異性間の相互の理想なるものは、つまりは己れに缺けて居る所を他によつて滿たさうとする心の要求に外ならないのでありますから。正義と愛とを完全に備へておいてになり、神の父格と母格とを圓滿に代表し給ふところのイエスキリストを吾等の救主と仰ぎ、其人格を戀ひ慕ひ、其の精神に同化する時に、人間は初めて心ゆくばかりなる衷情の滿足を得ることが出來るのであります。此の人道の模表、理想の極致たるキリストの人格美のうちに吾等の永遠の靈的渴望が遂げ得られるのである。久遠の戀が成就するのであります。

日本の農業に及ぼせる地理的狀態

エレン センプル

左の一文は昨年(一九一三年)發行の英國地學雜誌所載の要領を翻譯したものである、斯う字を並べると、廻り難く加之迂りくどい所もあり、心に慊らぬが、若し之れで崇高な英國婦人の科學的智識と、世界的で、そして緻密な觀察力とを窺ひ得らるゝ端ともならばと、流石に棄てもせず、掲載していたゞく事にした。辻村 靖

島は往時から最も願はしい好住所である。島は氣候が溫和で寒溫の差が甚しうないのみでなく、弱少の國民に向つては獨立すべく保護を與へ、政治的に農業的に、彼等特有の方法に於いて、獨立することを得更に亦强力の國民には、海と陸との階梯になつてゐる。其內地では穀物を、沿岸では魚類を與へ、又貿易によつて國民の收入を增し、或點に於いて獨立し、或點に於いて離隔し、近づき易いと、防ぐべきことの、適度の調和を得て存在して居る物である斯の如くして存在し、かくの如くにして發展進步しつゝ行く島國は、益す文明の域に進みつゝ行くが、島國は自ら文明を産みいづることは極めてまれである。奈何となれば、島は文明を産み出るには餘りに小い、惟だ奈何なる文明が大陸に花さいても、島國民は必ず夫を移植するを忘れぬ。現に、我今論ぜむとする日本は、自由に支那及び朝鮮より輸入した者であつて、夫は恰もグレード、ブリテンが、大陸から借りて來たと同やうの態である。此二つの島國は地勢と歷史と、二つながら共通の處があつて、亞細亞及び歐羅巴に於る、文明を最高極度に發揮させたすべて島國に於る地理的狀態は、農業の進步を促進させて、しかも耕作は、最も激しい科學的方法により行はれる。夫は人口は限りなく繁殖する一方面積は限りあつて、必然の結果から、發明された者である。

海によつて繞らされ、進退谷まつた日本諸島の狀態も異常に加はり行く人口の過剰と共に、非常の發達をしてゐる。元來日本の大部分は、山岳起伏し、

しかも澤山に火山があるから、極く僅の冲積地、極めて狹い海岸の平原地も、僅に瘠せた地味たるにすぎない。之が猶更農業に刺激を與へた原因て、日本現在に於る狀態では、農業は經濟的又美學的に國民必要の重大事件となつてゐる。夫も世界の何處でも見ることのできぬ者てあつて、十四萬七千六百五十五平方哩の日本國三分の二は山とし、平地の大部分は荒れ河て何百町歩の稻田も一瞬くひまに磧となるしかも夫等の砂石が積つて河床は年々高くなりつゝ行き一方稻田に水を灌ぐには都合が良いが、一方洪水の危險は免れない。私は千九百十一年（明治四十五年）の八月富士登山をして絕巓から下を瞰た處、富士河の洪水によつた汎濫の蹟の、慘憺たる荒景に心を傷ましめたのである。山がちな土地の地貌と、氣節風の帶に當る日本本洲は、所謂二八月の暴風雨は必ず災は免がれぬ所ではあるが、一面洪水の害あると共に、一面米の栽培には最便適宜の狀態を與へて居る。日本の農は米を第一主眼に置く。始て來朝した外國人の吃驚するは、如何なる山の中に行つても其溪谷に到るまで、底を段々にきり拔いて、田畑の作られてあることて、少し精密の地圖を開くと、上毛の如きに至つては、小さい村落が河ある所に多く集り、河の遠くなる程人烟稀少になると云ふ狀況は直に注意されるであらう。

猶日本の耕作すべき土地の面積は、土壤の不良なので益す縮少されると云のは、第四世紀時代の初から、現在に至るまで、熾に噴出した火山の灰が元來良好い地味を磽确とする。

（たゞ東京から、南及び西に行くと、廣い面積が花崗石を以て蔽はれて、諸方面から見て就中肥土と認められ、米に宜しく、綿に佳く、砂糖に、麻に、皆な適して、有名な山城の宇治茶は斯の如き土壤により栽培せられて居るのである。）

日本て今利用されてゐる土地の面積は、全體の一割四分、十四パーセントに過ぎない、しかも其土地を瘠せさせ使ひ盡されるだけ使ふと云ありさまであ

るが、人口は、一平方哩につき、三百五十人と云ふ多い密度を有つてゐる。其稠密の程度は、蓋し以太利よりも過ぎてゐるではないが、以太利は耕作すべき地は日本に比すれば澤山ある。最もこの密度で裕に生活して行かれると云ふのは、一つには漁業の利が豊富と云ふ原因の下にあるのであらう。漁業は即ち海上の牧畜であるからヒーブネルの評によると世界中日本より耕作の地の少い割合の國は、フヒンランド、スウキデン、ノルウエーの三ヶ國に過ぎないと云ふ。

其耕作の方法は、やはり人口過剰になる支那とよく似てゐるが、農夫の社會的位置、國民的國家的の位置は、彼らより遙に上てある。農夫彼等は科學者知識はなべて無い。更にないが耕作に於いて、實際驚くべき結果を收あ、餘り肥えてはゐぬ土地を、非常の勞働て深く耕し、厚く耘り、十分の灌漑を施し年中幾回か肥料をやり、其結果五穀も蔬菜も、見事な收穫を見せるのてある。要するに日本の農業の特性を云へば、土地の狹少い結果として田も畑も休ませずに年中使用ふ。夫から粳稲を澤山に作る。

此の二つの事實は土地を瘠せさせぬやうに、幾度も、幾度も年中肥料をやらなくてはならぬ。夫と第三の特性は、牧畜業と云ふ物を、とんとやらない。如何なる國でも、耕作に對して、牧畜は殆ど從いて離れぬ必要な補助事業であるのに、（家畜は肥料を潤澤に供給するから）日本では、是ほど肥料の需求に迫られてゐながら、この貴重な材料を、供給せうともせぬかの如くみえる。

抑日本帝國は、山國が殆ど其三分の二を占めてゐるのに、其潤い裾野の原に、スキツツル及びノルウエーに於いて觀る如き、其山岳の風景に優美の觀を添ふる牧場なく澤々たる牛や羊の隻影をだに認める事が出來ない。

凡そ世界人類の棲む處牧畜は高原到る處に行はれ往古のペルーに於けるラマはアンデス山上一千二百尺の高い所に牧せられ、近來は亦アメリカロツキー

山中に、羊を放牧してある高い所にある。然るに是等、日本には一つもない。此異常の現象は如何なる事に起因するか、日本人は自ら說明して、過去千有餘年前から浸潤し來つた佛教上の信念から、生類の命を斷つて食ふを、非常の罪惡としたからだと云うてゐる。

然し、經濟的見地から觀ると、決して〱原因は夫等單純な原因のみには限られてをらぬのが解る。勿論幾分かは其理由になつてはゐようが、憚りなく云へば、家畜の缺乏が、佛教の戒律を容易く一層國民に守らしめたと云ふ者て、換言すれば自分の嫌ひな食品を、斷物にしたと同樣なことになる。猶一歩を進めて證明してみれば地理的立脚地からみれば沿岸到る處て漁れる魚類ならば殺生禁斷と云ふことが無制限に行はれても居るらず、又樹間に徜徉して、樹の嫩芽を食ふ鹿が、人間の毒手から到底免れない運命を有つてるは、英國も日本人も、決して異つたことはない、してみると、日本國民の巳むを得ざる底の菜食主義は、其原因を外に研めねばなるまい。外の原因とは何かと云ふに恐らく家畜に適した牧草が缺如してゐる爲ては無いか。其牧草がどうして繁茂せぬか、恐らくは小竹の强靱い筋を張つて、無暗にふえて行くが爲てはないか。笹は無益の物てあるのみてなく、夫が叢生する所牧草を壓迫して、夫をして生長せしめないのに、日本ては野にも山にもこの小竹が夥しく茂つて軟い牧草の發生を妨げる。之が遊牧者をして、屢失敗せしむる原因て彼の大山大將すら日露戰爭の後のことと中央日本に於る別莊に、鹿を放牧せうと試みられた結果が面白くなかつたが、其努力は大した物て經濟は恰も滿韓の野て戰爭した程かゝつた等と云ふ。益田孝氏は亦、箱根の別莊にクローハーを植えてみようとて、五年かゝつて丹精されたと云ふが、果して收支相償ふかどうか、甚だ疑はしい。

其通りに家畜が乏しいとすれば、日本人は更に他の方法によつて、肥料を供給せねばならぬと考へさ

せる。

夫は何かと云ふと多數の人から產出させる人糞であつて、其内に、窒素燐酸加里の非常な分量を含有することを、歐羅巴の化學者の分析しない前に、早く既に支那及び日本の百姓は、經驗上よく知つてゐて、他の何物より植物の肥料として有効第一であるを認めて居る。且夫を使用ふ方法にした所が無益な使用ひ法をせず時節にしても化學的分解の作用ある好い期に施す、すなはちアンモニヤの遊離せぬ前に使ふ。

夫等確たる化學上の知識は無いにしても、彼等訓練實施上から悟りえた知識は、驚くべき精密の者である。猶其外に日本人は魚肥を利用する。木藁の灰骨灰を施し、又養蠶した繭を煮た後の蛹をも使ふ。近ごろ又、南洋から來る燐礦を主として作つた化學的肥料まで使ひ試みてゐるが、其外所謂綠肥と云ふ物森林原野から利鎌の先に苅り取られた草一般に使用されるが田に植ゑて土地を肥す物は唯一の蓮華草があるばかり苅りとつて直に土に埋める豆もり是は豆の根に窒素を澤山に含んでゐるからであつて日本の氣象狀態がすべての有機物を非常に早く分解酸化せしめる。

西洋では肥料を施すに耕地其全體に及ぼし、植物野菜の根の達せぬほど遠い處に持て行くか、さう云ふ徒費は、日本農夫の堪へゑる處でない、土地を潤すのでなく、植物其物を肥す爲に、柄長い柄杓で、さく每に施す。日本の農夫は、過古數百年來の歳霜の久しい間を、如上の方法で、恰も損失と利益との間に、平衡を保つて、其恬淡たる生活を續けて行くのである。（未完）

渡米所感の一二

津田梅子

私が度々外國に參ります毎に新しい印象を御土產として持歸るといふ事は不可能の事で御座います、然し今度の旅行は萬國基督教學生同盟大會に列席をしたので今迄得なかつた經驗をした樣に思はれます旣に御聞でせうが三百人が四十四ヶ國を代表された會に出席致しました、それで其席上感じました事は驚くべき一致共同と赤誠の同情、人種位置の差別なく皆溫き友情を表した事であります、然も教育界に關係を有つて居ます基督教信者が如何に心が似合て居るかと云ふこと、次には詐のなき事即ち絕對的の眞實といふ事で四十四ヶ國の者どもが決して自國自慢をせずに皆自國の短所缺點を明に話して如何に救濟せばよきやと問ふなど此點が他の會合と全く違ふ所で、他の會合は成可く自分の國を誇がに紹介するが普通なるに、國々の眞相を研究して互に進歩を助けんとするには正直に恰も病人が名醫の下に診察を乞ふ如く癒すべき病根、病毒を研究して根治するにはかくの通りにせねばと云ふ事が心に當つた點でございます、次に旅行中に感じました事は如何に日本それ自身が未だアメリカの人に知られて居ないかといふ事、格別日本婦人が知られて居ない爲樣々の誤解を招て居ります、或處では實際よりもなほ惡く品定されて居ますが、畢竟それは日本人を知らざる爲の誤解であると思ひ可成辨解すべき處は辨解し紹介すべき點は紹介しやうとの決心で多くの會に出席致しました、或人の言ふ事には私は日本に二三度も行つて家庭を訪問したが奧樣に會ふた事がない或は日本の婦人の本當に笑ふのを見たのは貴女だけとか思もよらぬ事を耳にし驚きました、これも日本に來て旅館に宿り案內者によつて通一遍の見物をするに過ぎぬ爲、從て皮相のみを見て國の全體の觀察するに過ぎざる爲誤解した觀察を土產話になし遂には自分の言ふた事が確實と信ずる樣になつてきたので御座

います、故に日本の男女共に相當の家のある方なら外國の方が見たいと所望ましたら見せもし會ひたいといつたら會ひもするのが日本の爲と思ひます、日本の臺所が文明に後れた場所とはいへ見せた方が却つて誤解を防ぐ事が出來、見なければ實際以外に劣れりと見るから物事研究したい人があるなら見せるといふ大なる心を持ちたいものでございます、勿論語學の必要は交際上必要なのは申すまでもないことですが、これも半呑込では隨分大な誤解を來し、或時は滑稽に終りますが又其反對にもなります。某外國人が『何々と云ふ日本の方は實に妙だ、物語の面白い處に行くと急に止て仕舞ひ、何と云ふても一言も云はなくなる』と申ました、然う云はれた日本人が云ふ事には『何西洋人は實に妙だ、私は西洋の禮儀作法を知らないのだかもしれぬが、何日でも私が談話をして至極面白い處に來ると、語るなと止めます』是は妙だ兩方で何か誤解があると思ひ問てみたらば『ユー、ドント、セイソー』との辭句で直譯すれば『語な』となりますが、それは熟語で『マー、そんな事がありますかねー』との意味なのを此日本人は知らずに氣を惡くしたので御座います、此は觀察の一班に過ぎませんが、兎角余り日本人が妙に遠慮したり、躰面を繕ふとして不自然な言葉や行動を表はしたり又隱したり生噛するが爲に却て間違を生じ或は惡感をかふに至ります、我共は然を然とし否を否とし有ものはある、無いものは無として、無暗と樣子振と云ふ性癖を矯正して正直な性質を養ひ度ものて御座います。

新しき見聞

在米　加藤高子

工場に行つて話しました。まア、がつかり致しました。思ふ存分話せませんでしたが、何か少しでも皆さんの心に油を注して來ましたかと思はれますが一向自分には滿足が出來ませんでした。失敗であつたらしいのです、手袋製造所で日本婦人を卅五人程雇ふて居る處でした。其婦人等はきちんとした樣子をしてさつぱりと綺麗でしたのに驚きました。皆十八九歲か廿歲以上の人達でした。それは市の檢査官が廻つて衞生に注意するのと商業會議所の方からも檢査に來るので、自然淸潔なのだそうです。一日に八時間働きますが二列になつて足ミシンを置いて兩脇に色々な箱を置いて居ました。亞米利加の女よりも器用で早くてよいと申して居ました。一ダースが九センツで早い女は一日に廿ダース造るそうです場所は第六階で海の見える明るい處です。青年會の幹事の方が良い働場所だと大喜びでした。私が參りましたら恰度お晝で各々辨當を食べて居ましたが一人年の多い人が挨拶に來て食事の濟むまで待て居て下さいと申しました。十分位待つて行きましたらミシンを用はないで、何か手仕事がありました。晝は一時間休むのだが其時間に其の仕事を仕なければ午後に差支へると申しましたので其仕事をし乍ら私の話を聞いて居りました。割合に遠に離れて居た人もあり實に話し辛らくて困りました。青年會幹事ミス、マクランドとミセス、ヘリカが脇に居て下さいました、シヤトルにある青年會及び日本クラブに就いて話して皆に解る樣にしてくれとの御賴でしたから出來るだけ致し、日本の靑年會の事、それから別に山室先生の御話の受け賣に『時計』の話を致しました。此所は確によい働場所だと存じました。今日本クラブに會長が無くて困つて居るとの事でした。工場の人達も其クラブに來る樣に幹事の人達が働いて居ります。

それから、お晝は青年會の食堂で幹事の方の御馳走になりました。之れは初めての經驗です。第一に盆を取り段々に好な品を取つて行きますのでミス、ページから伺つて居ましたが、實際其仕方を致したので面白く思ひました。便利なもので御座います。肴とサラダ、パン、パイ、日本茶を戴きました。ヘリカさんと同じ物を頂きました。それからヘリカさんの毎週行かれる貧民の子供の裁縫の組に行き、六時半に歸りました。

今下の溫室に來まして見ると何と美しい眺めだか知れません。硝子窓に向つてテーブルで書いてますが、目の下には湖の水が大陽にかゞやいて居ます。湖の向には森があつて處々に家が見えます。外の景色も美しいのですが、此の室も又きれいで御座います。御母様が草花が御好だそうて、美しい草類が澤山下つてゐます。硝子窓には薔薇がからんで居ますし、本當に美しい處てす。今度は美しい溫室を作つて差上ませうね。九月一日か二日に出立する筈でしたが、大變長くなつて、六日の夕方迄此所に居ります。車中には二人の婦人が居ります。九日になると青年會の方の人でヘリカさんのよく御承知の方が御出立なさるそうですが、行先が明かでないからとて其方と行くのを中止致しました。色々捜して下さいましたが、ありません。其二人の婦人の方と同じ汽車て參ります。又都合よい事にはヘリカさんの御承知の方が、今迄シャトルの出札に居られましたので其方が名刺を下さいまして、誰か一人のボーイに賴む樣にと親切にして下さいました。何時でも行く先は守られて良い樣になります。此度は船の旅行よりもつと恐ろしく思はれますが、皆守られて行きます行く處々て、親切な方々に逢ひますのを感謝して居ります。愈々新舞臺に出かけます。其先の事はミルオーキーに行きましてから御知らせ致します。汽車の寢臺は十三ダラでした。一昨日アスグードさんに會ひました何と嬉しかつたかしれません。急に來たので河井先生には逢はないで來たと仰られましたが

青年會の方々の事を伺ひました。ワトネさんはテニスが出來る樣になられたそうで、本當に喜んで居ります。マクドナルドさんは日光より輕井澤まで御徒歩遊ばすそうですが、足を惡くして車でお出になる樣な事のない樣にと祈つて居ます。アスグードさんは瘦せて大變御疲れの樣に見えました。船暈で困つたと云ふて居られました。ニユーヨークのトレイニング、スクールに御出でのださうです。來年の一月に亦御目にかゝれます。マシウさんも御一緒に、お百合さんも……今から樂しみです。マシウさんから御手紙を戴きました。十一月にシヤトルに來られてそれからニユーヨークに御出での由です。一月か二月にお百合さんと一緒に逢ふと仰られましたが、何處で御目に懸るか知れません。何に致せ、他鄕で知つた方に御目にかゝる程嬉しい事はありません。それからマシウさんは私にもし思ふ存分英語が話せなくとも、他の方で必ずキリストを表せるから失望するなと仰いました。本當にキリストを表す事の出來る樣に祈つて居ます。是がシヤトルで書きます終てす。若し出來たら汽車中で續けます。そしてミルオキーに着てからか、又は途中からでお出しませう。

ミルオキー行の車中にて

九月八日。御早う御座います。今は八時少し過で私は朝飯を濟して自分の部屋に來て手紙を書き初めました。初めて汽車の長旅行の上に米國大陸を横切りますのですから、シヤトルを立つ時は、本當にびく〳〵致しましたが、御親切にして下さいました方々と御別れして、全く未知の方々の處に行くのですから、流石がに辛く御座いました。九月六日の午後七時廿分の汽車で出立致し、シカゴ、セントポール間で乘換へなしの列車です。ステーションにはヘリカさんは勿論御兩親とヘリカさんの御妹樣と二人の小さい御子供と來て下さいました。列車は一號で寢臺は十一で御座います。汽車の大きいには驚いて膽をぬかれました。上の寢臺には誰も寢ません。扨て出立の夜は疲れて居ましたから、早く床を作つて貰

ひ休みました。余り便利に出來て居ますので、手品の様に思ひました。大した揺れは致しませんが、ゴー〳〵いふ音が酷くて幾度も目がさめました。おまけに寒くて夜中足が冷たくなほ寝られませんでした朝は起きないで臺に居りましたら、病氣かと黒さんのポーターが大きな〳〵われる様な音で申ましたので驚きました。本當にシックだけ聞えて目がさめました。熊にても食べられるのかと思ひました。私の車の給仕さんは特別に大きくて黒いのです。親切に世話をして汽車の時間割を説明して客に返答をして居る時は、何とも思ひませんが、今日は實際熊だと思ひました。椅子に寄り桃色の舌を少し出して仰向いてぐう〳〵寝て居ます其姿は本當に恐ろしくなりました。人種の色々なのを見るので驚いて居ます。幕中で着物を代へて幕を出ました。何だかふら〳〵致しますから何もせずに横になつて居ました。それから本を二時間計り讀み、また寝まして四時に起きました暑くて〳〵困りました處へアイスティを持て來てくれましたので、氣がさつぱり致ました。それから始めて窓の外を見て廣い〳〵のに、流石は米國だと思ひました。夕飯に初めて食堂に參りまして、肉と芋、パン、茶と頂きまして、八十錢拂ひ十五錢心付を致しました。隨分困りましたが、船中での經驗とヘリカさんの御家での洋食で、赤毛布ながらやつて來ました。夜は、又早く臺に入りました。割合よく寝られました。朝起きて食堂に參り、ココーとトースト、フルードと玉子で、品物に代價が書いてありますから便利で御座いました。九日の夕方着くのですが、汽車の中がもういやになりました。出立の日の午後レーガンさんの御家に行きました。ヘリカさんの御住居から十八哩もあります今迄時がなくて行かれませんでした。何ですか大勢でた〳〵居られまして、大騒でしたが、私が尋ねて行きましたので大喜び、五分間位居て歸りました。ミス、デネイに御暇乞に行き、ヘリカさんの御妹さんの御家で、夕飯の御馳走をして下さいました、皆さんが親切に

して下さいまして、何と御禮してよいか分りませんでした。それから皆さんで送つて來て下さいました。ヘリカさんはさぞ御疲れの事と存じます。汽車中では私の向ひに、二人婦人が居られて、ヘリカさんが頼んで下さいましたが、殆ど何も話ません。私を支那人と思ふたらしいのです。何處から來たと申ましたから日本と答へましたら驚いて居ました。此手紙はセントポールでポストに入れます。

九月九日汽車中で。夕方五時頃、もう五時間經ますと、ミルオキーに着ます。今度御世話になりますミス、メリルに何と申て御目に懸りませう。今汽車中で私の箱には夫婦と子供一人の組と、シカゴに行く婦人と私だけです。實に淋しい位、今朝迄は大勢居ましたが皆下車致しました。米國大陸の横斷は一人です。淋しいより飽きて來ます。廣い〳〵野原計り又玉蜀黍の畑やら、實に平地の廣いのに驚いて居ます。三日三晩乘續けてす、船より疲れます。シャトルには三週間以上、ヘリカさんの御世話になりました。市から九哩も離れた處に、立派な御住居があつて、湖の脇だものですから船の便利と自動車で出かけます。私の爲になり、又喜ばせるもの必要な事は皆な仕て下さいました。御兩親樣も良い方で本當によくして下さいました。出立の時は皆さんで送つて下さいました。今でも心が後髮を引かるゝ樣で心はヘリカ家に行きます。

九月十一日、たう〳〵ミルオキーに參りました。扨て長い汽車の三日三晩の一人旅を無事に終つて九日の午後九時半ステーションに着ました。高い汽車から降りました時は、本當に何とも言はれませんでした。黒さんがスットケースを持て開札口まで來て吳れました。薄暗いので恐ろしく存じました處、向から二人の方が來てミス、ケート(加藤)かと云はれましたので、やつと安心致しました。全るで日本の停車場と違ふので可笑しうございました。それから、どうでせう電氣の靜に滑かに走る自動車に乘つて連れて來て下さいました。ミシガン湖畔の公園を通り

ぬけて茂つた兩側の木の下を通つて靜な凉しい風に吹かれて參りました時は、良い心地が致しました。暗くて何も見えませんでしたが心地よくて堪りませんでした。

ミス、メリルは何と靜な落付いた方でせう。第一の印象は實に心地よい日本の方に御目に懸つた樣でした。アメリカの方の樣ではありません。御一人の御從妹さんが來て下さいましたが、背の低い方で、同じ樣にお靜な方で、私の樣なゴツ〱者はきまりが惡くて堪りませんでした。此方は一ヶ年前に御結婚になつてコロラドに御住居ですが、夏休に遊に來られて居るとかで、來る月曜日には大きな御主人が御出でになるさうです。此方の御姉樣と見える方がもう一人居られます。これも瘦せた本當に小さい方で、ミス、メリルと御一緒に御住居です。御家内中皆落付いた靜な事が一番印象されました。愈々私の聲を愼まねばなりません。河井先生は御存じでせうあの立派な御住居、何だか教會にでも入つて行く樣な氣が致しました。階段でも廣いので硝子が色々になつてませう。まあ、兎に角に一番自分のゴツ〱なのに皆樣のお靜なので、本當によい心地がしましたが、直に家に着くと、ホームシツクになりましたの……馬鹿ですねー。

其夜は水を一杯戴まして、直ぐこれから私の部屋になる處に、ミス、メリルにつれて行て頂きました。まあ、ゆつくりと云ふた風の御言葉で御別れ致しました。何ですか嬉いのやら(勿論不滿ない淋しい汽車の旅行から此所に落付ました時ですから嬉しくて嬉しくて堪りませんでした)又有難いのやら色々で大きな鏡の前に立て知ずに涙を出し、直ぐ感謝の祈を致しました。ミス、メリルが此處は長い旅行の終だと云て下さいました時は、自分も家の樣に存じました。

窓の下には、自働車が、それこそ矢の樣に早く飛び行きます。通る〱實に通ります。早速此部屋に入ると、窓を開けて見ましたが、湖は見えませんでした。もう、直ぐ床につきましたが、寢られません河井先生も見えれば、汽車の中の黑さんも出て來るし、シヤトルの景色も見えれば、又日本に歸つて御友達に會ふたり。まるで一時間餘寢られませんでした。其れは其筈です。御察し下さい。

神戸より臺灣へ〔二〕

河井道子

臺灣全島中、嘉義、臺中は人氣の極宜しい處で從て日本人との間も他所よりも關係が密であるさうで心嬉しく思ひました。臺中の牧師鎌田氏は往年伊勢山田に傳道された關係もありますので話も合ひ旅の疲を慰する事が出來ました。同夜某信者の家庭にて夕飯を戴き其より工學校の雨天體操場で開かれた宗教演説會へ植村氏と臨席しました。二百名以上も集つて婦人も多く何れも至つて眞面目に見えたのは滿足の至でありました。

翌朝早天祈禱會を信者間に開くとの事でしたが私は町外れの松岡夫人宅に其夜を送る事とて到底早朝の列席は六ヶ敷いので見合せました然し其代りに同家で十時頃まで靜かに夫人と樣々の話をする事が出來て一層幸でした。松岡氏は有名な帝國製糖會社の社長で新渡戸御夫婦とは懇意な中で夫人は外村氏より道を聽かれて御受洗されし方なれば話も合ひ清々しき心地して涼しき純日本式の美しき御庭を眺め風味良きバナヽを戴いて旅の心地を忘れました。同家の屋敷續きにバナヽ園と砂糖葦一面渺茫として生成繁茂した處は想像した臺灣の景色を實現させて是までになく熱帶地に來たといふ考に打たれました。唯一泊て其地を去るは殘念でしたが先を急ぐが爲三十一日晝の汽車で出立し、途中で臺南教會牧師西氏と一教會員の出迎を受け二時半頃舊都に到着しました。此處では臺灣人傳道に多年從事さるゝファガソン夫人を始め教會員の厚き歡迎を受け自分丈は直にファガソン夫人の宅に迎へられました。同人は曾て會友後藤久子樣が本部で御受洗の時に御列席されし一人ゆゑ色々と久子樣の御噂やら東京の物語に時を移しました。

扨、臺灣傳道といふものは今より略ぼ五十年前より着手されたもので目下外國宣教師中キャムベル氏は此地の爲に一身を献げ四十年の長年月を此處に送

られて居るとの事、フアガソン教師の如きは二十年を過されし由。其功勞は大いに賞すべきであります傳道上全島を二分して北方は加奈太ブレスビテイアン派、南方は大英洲ブレスビテリアン派が傳道の責任を有つ仕組にて聖公會を除くの外は他の派より宣教師はないさうです。フ氏宅は臺南の一隅にある外國傳道會社の宅地に建てられ、同邸地内には男子の爲の神學校、普通學校及女學校、病院、印刷所、外國宣教師の住宅等があつて一つの城廓を作つて居ります。到着の當夜は天長節なれば祝賀の爲市中に提灯行列があつて私共は教會に赴く途中それに邂逅ましたが一種言ふべからざる悲觀の湧き來るあつて祝賀の日に心を痛めたのであります。畢竟其行列に參加せし日本人、臺灣人は共に歡喜の色外に溢れ如何にも樂しげな樣子には見へしが日本人の扮裝、假裝は往々野卑淫猥に流れ、却て島人は笛吹き喇叭を鳴し大鼓を打ち正服正帽やら、平常の無邪氣の風やらてあつたのには、赤面せざるを得ませんてした。格別心ある者の眼に苦痛に映じたのは日本男子が女子に扮裝し男子に凭れ淫がましき擧動をなし傍若無人に振舞ふ者が非常に多かつた事てした。戰勝國民としての價値は影にも見えず　陛下の御生誕を祝するに非ずして國の耻を暴露する如き感を禁じ能はなかつたのは殘念な事であります。此騷に反し教會内には眞面目の男女が集つて靜に心を天外に走せて所謂他界の空氣を呼吸するが如く心靈上の教に耳を傾け罪の淵より罪と汚を洗除して靈魂の救を求むる樣は世俗の混亂と異常な對照を示した樣に思はれました

十一月一日は午前外國傳道會社經營の臺灣人女學校に於て『外の飾』てふ題目の下にフ夫人の通譯を以て一場の講話をしました。抑も臺灣人基督信徒間にはローマ字が使用され、聖書、讃美歌、新聞、雑誌、手紙の往來に至るまでそれてありまして大改革又大進歩と言はなければなりますまゐ。女學校の程度は至つて低く到底内地の高等女學校に比すべくもありません。然し其校に集ひし女學生の容貌は他の

臺灣人に比して一種云ふべからざる凛々たる溫情の表はれて居たのは、敎育、宗敎の賜と言ふべきてありませう。當臺南の滯在は二日半に過ぎませんてしたが、其間に日本人或は臺灣人の間に於て新しき事を經驗し自身奬勵された處が多くありました。

扨て、臺灣人の信仰に就て聞いた事を略記せば、彼等は假令聖書に精通せず敎義を全く悟らざる者にても、一旦洗禮を受けし者は日曜日に敎會に列席する事は義務と感じて居るとの事、之が爲日曜禮拜には出席者多く祈禱會の如きも決して淋しさを感ずる事なき由。又彼等は信者になる時は克己心を出し大なる犧牲をなす者が多い。例へば一夫多妻主義を棄て或は亞片を廢する等古來よりの陋習を放棄する事は決して珍らしくない。然し彼等は內部的信仰の方は其發達は如何にも遲く畢竟靈性發達には無頓着の樣で靈の交り、密なる室にて只一人の祈、是を是とし否を否として、自分の信仰する處を決然と實行しつゝ日々靈化するといふ如き向上心は缺乏して居るとの事であります。然し是は臺灣人のみに限らず我々も御互に注意しなければならぬ點で、聖書の組を敎へ、說敎をなし、祈禱會の司會はしても、靈的生命に於てなほ幼稚なる者が多いと思ひます。

十一月二日は日曜日て臺灣人の敎會の禮拜說敎を依賴され列席しました。講壇より會衆を見渡すと一方には女學生及び女親らしき者が着席し他方には男學生及び其男親達が着席し、中央は一般の來會者に宛てられたる樣思はれました。二百七、八十人の集會でありました。此敎會は臺南市に於る臺灣人敎會の支部で中央敎會は非常に大きく日曜禮拜はいつも滿員の勢を示すそうであります。維持は獨立て一年間に四千圓の收入があり、是は全く彼等信者の寄附金で、全島南部の献金總高は一ヶ年二萬圓以上との報告を聞き感心しました。

夜の集會の後夜行にて臺北に歸り、婦人會や敎會の講演會に列し、內田長官の饗應になり研究所を見五日には愛國婦人會の招待にて『實行的奉仕』てふ題

の許に一場の講話をなし、翌日基隆港に至り聖公會の信者川上夫人宅にて婦人會を開き、午後四時諸兄姉の見送を受け雨中靜かに同港解纜門司に向ひ歸途に就きました。

扨臺灣にて受けた印象の一部を申せば概して日本人は戰勝國との考が強く、別して下層の者に強く、從ひて島人より恨まるゝ事が多い事と思ふ。殖産事業、行政の方面に於ては我々の嘴を入れる範圍でなく、其發達の立派な事は當局者に感謝の外ありません。然し一方靈界に於ては空虚旱魃の如し一同に此方面には非常の努力と奮發を要する時代と思ひました。又教育あり宗教心ある日本人男女等が共に彼の領土の教育、宗教、社會事業等に同情を以て献身せねばならぬ。又臺灣を教化するには先づ支那流の古き家族主義を廢して高潔なる家庭を作る必要があるこれには日本人自ら美しい家庭を作り社界を純潔にして彼等の模範とならねばならぬ。是には神の力に依らては全然無効である。日本人はもつと基督の精神を服膺して『大ならんとする者は凡の者の僕となれ』との教を實行し戰勝國民の傲慢な態度を奉仕に美化せずば、此領土が却つて日本の呪となるのであろう。他を奴隷視するものは必ず己が亡ぶるものである事は歷史が教へて居る。將來は基督教婦人も彼の地に渡り主婦、獨身、上下の差別なく教化の爲に盡す必要がある事は顯著である故に所謂出稼根性を捨て眞心を以て献身的に人類の進歩の爲に盡すといふ眞の愛國心を今日に於て養ひたい。此の精神は神てふ感念を離れキリストの教を措いて決して外に發見は出來難いもの、何卒主にありて結合ひし姉妹方が世は多事多望であると認められて汲々として勉勵されて最善の生涯を送らるゝ樣、之が私の臺灣に於ける感想と、祈禱との概略であります。

△天國は芥種の如し

△天國はパン種の如し

△神の國は爾曹の衷に在り

小説 ひとりぼっち後篇

河井道子譯

第一章（二）

先頃より憂思に耽つてゐたベテーは出拔に、
「お母樣御用ですか」と母親の御機嫌伺ひも忘れて申ました。ストワート夫人はそれに氣が付ましたが何も云はず只、
「用事があるからお腰かけ、御醫者さんは私に直ぐ轉地せよと仰るのだよ」
「外國へでもいらつしやるお考ですか」とマレーは問ひ出しました。
「否なるべく世離れて呑氣に養生するがよいから田舍の百姓家へでも行けとの御勸言だ、御命令に違く事も出來ないので何處へ行つたものか、當もなく困つてしまふ加之に私はお前たちを同伴て行くがよいか又ドラ叔母さんにお前達だけお願ひして行くがよいかわからない」マレーは直ぐに、
「叔母さんは交際戰はロンドンに居られず、瑞西國に居らしやつて昨日御目に掛つた時申されました」
「ライラー夫人の御宅へお前達が行けば、先方では大歡迎て二ケ月位置いて下さる事は必然ているけれど……御醫者さんは兎も角も私には半年位轉地保養せよと仰つた」
「御母樣どうぞ御一緒に田舍へ同伴て行つて下さいまし暫く皆から離れて靜な處に行くのは結構て御座いますよ」と熱心なベテーの願が出る。
「御母樣お一人て轉地をさせ申すなんて思ひもよらん事てす是非御一緒に同伴て行つて下さい」と姉が詞をそへました。
「私は如何な事があつても百姓家は全く御免、多分造作附の借家が多分したら牧師舘でも借りられるかもしれない、百姓家の良いのは夏の最中で、一日の大部分を戸外て暮せる時期だけが結構さ」
「姉さん、私ども幼い時に遣られたあの面白い農場を記憶て居て？ 彼所は乳母の親戚の處ぢやありま

せんでしたか」と熱心に問へば、
あのフェアーファクス一家の住居て居つしやる土地の事でせう記憶て居ますとも、けどお母様は農家はお嫌ひですよ、ことによつたらあのフェアー様の家が借りられるかも知れませんね、何でもあの奧様が病身娘のグレースを同伴て外國に保養に行かれる前に貸したいつて言つて居らつしやいましたとやらてす」とベテーは付加へました。
『それならおさんに問ねて御覧、彼女に時々乳母が手紙をよこす様だから、私は何所へ行くとも構やしない、唯氣樂な良い處なら可いんだから』マレーは母の命ぜしまゝ永年奉公めて居る女中に事の由を探つて見やうと室を出ました、あとてベテーは椅子より徐ら立上つて落付かぬ様子て室内を彼方此方と歩いて居ましたが頓て母に向ひ、
『あの今日午後姉さんと一緒に又茶話會に行かなきやなりませんか」
『行かれない理由があるかい、何誰が監督て下さるんてあつたがね、あゝ、シンクレヤーの奧様だつたらうね』
『唯、然ど私が行きませんでも顯りやしません、昨今私は餘り茶話會などに行きましたんて倦きて來ましたの』
『それがお前の行たくなき理由かい？』
パット眞紅に染みし頬に美を添へたベテーは俯目勝に言難くそうに、
「ヒユーさんも居つしやるつて、彼男子はうるさいのです」室内は森として少時音がありませんてした夫人はつと眉を顰め數ケ月以前迄はヒユーさんとお前は仲よしてあつたのではないのかへ喧嘩でもお爲だの』
『そうでもありません』といふた答は淀んで居ます何故かベテーは母に打解けて話す事が何日も六ケ敷く思はれたので、
「お前が私に打明て話さなきや話の爲様もないさ」と母親は稍冷淡に言流しますとベテーは口籠り乍ら

『友人としては良いんですが、私は彼男子の妻になるのは嫌です、何程御斷りしたつて承諾ないんです貴女は自分で自分の心中が解らないのだから拒絶るのだらうから良い返事をする迄待つだなんて言ひます』

『お前は自分の心が理解て居るのかへ？　お前の機嫌買だといふ事は誰だつて知つて居るからヒユーさんにや猶更氣が付いたらう、お前は男女の區別なく友人としては誰にでも目立程親しくするから彼人がお前の方にも心があると思ひ込んだのも無理がないさ』ベテーは母の痛い非難を酷く感じ少しく反抗の態度に頭を擡げ、

『私共赤坊の時から遊び合てる人で、ドグラス兄さんのお友達の一人として仲よくして居ればすぐ横合から批評されて酷いじやありませんか、それですから私は田舍に行て仕舞たいのです』

『一體ヒユーさんの何點がお前の氣に入らないので前途有望の青年で、堅實した人物だのに』ベテーは羞愧ひ躊躇つゝ、

『私の理想の人ではありません、彼の人は何事にまれ一事に熱心する事がなく、何でも笑つて不眞面目で、まあ流に任せて行く樣な人物です』夫人は微笑の中に嘲弄の色を浮べながら、

『お前には天才でなくては滿足が出來ないのだらう理想に驅られて行く女は決して滿足を知らない丁度パツクリ喰付嚙へて居る骨を落す犬の如なものさ』

ベテーは急込み憤然として、

『私は骨など嚙へないでも生活が出來ると思ひます』

『もう談話すまい、もしお前が自分の心が理解つて居るなら今後は在宅て青年に對する態度を注意なさい』ベテーは熱い頰と露を宿した目をしながら部屋を退いて獨言、

『わたしは姉樣の如に冷靜なお愛想のある人になつて見たい事、私は饒舌すぎ、笑ひ過ぎ、後で濟まなかつたと後悔する人間だ、本當にヒユーさんからも

誰からも離れて遠くなつたら、嘸嬉しい事でせう、私はお母様に氣に入らない事は知れて居る、必然早く結婚てしまひたいと思つて居つしやるに違ひない怎して私はお母様をお悦ばせする事はないのかしら然し何事があつたつて精神の無い、靈のぬけた人には嫁はしない』と歎息しつゝ書齋に入り一隅にある風琴に向ひました、此樂器は、今良人と共に印度に住んで居る親友ネスタ（セントクレヤー夫人）からの誕生祝の贈物です、もし心よりベテーが嗜好ものがあつたとすれば音樂で、此が何物よりも彼女を慰藉め滿足させるのでした。今母親は熱情籠めた奏樂の遥な音を聞きつゝ、

『あの娘が早く自分の家庭を作り、落付いて呉れゝば安心だが』と太息の內より洩しました。

彙報

旅行者の友

（上野停車場に於ける婦人保護案內開始）

前號の誌上に日本基督敎女子靑年會が各地より入京する婦人の爲保護案內機關の必要を感じ之が研究講話相談會など續催したることを掲載せしが昨年末に至り愈よ之を開始する事となり林房子姉を擔任者とし東京本郷天湯町一丁目廿四番地に事務所を置き先づ毎日晝間は上野停車場に出張し夜間は電話報知により保護救濟の事に當る都合となせり。案內係は『旅行者の友』と鮮明に記せる徽章を着用せるを以て誰人にも瞭然たるべければ保護案內を要する婦人達のため遠慮なく其便宜を求められんことを希望す。又該事業の爲には普く之を廣告するのみならず、會員及本誌讀者は勿論大方同情者の助勢を願はざるべからざるものあれば次號の誌上に詳報すべし。

文部

東京基督教女子青年會

▲●●●委員會　十二月三日午後三時より新渡戸邸に於て開會、出席者は青木子爵夫人、新渡戸夫人、ミセスピカステス、ミセス、エルウヰン、小畑夫人、ミス、マクドナルド、デビス夫人、星野愛子氏、ミス、ワトネの諸氏にて小畑夫人の祈禱に次て新渡戸夫人より上野停車場に於ける婦人保護新事業に就て擔任者人選中なりしが幸に林ふさ子姉を得たれば今は事業に要する家屋撰擇中なりとの報告あり。小畑夫人より會計の報告あり、星野氏よりは過般の祈禱週間の模様を報告せらる。尚ほ來年一月の聖書の組教師會には適當なる講師に聖書の教授法講話を請ふ事、クリスマス祝賀會は廿四日午後二時より田町の本部に於て東京會員及聖書の組の生徒のために擧行する事に決定して散會したり。

▲●●●●●寄宿舍委員會　十二月三日午後二時より新渡戸氏邸に於て寄宿舍委員會開會、出席者は新渡戸夫人、周防蝶子、河井道子、大西きぬ子、門倉藤子、ワトネ諸姉にて安藤坂及納戸町兩寄宿舍の修繕に關し種々協議あり、尚來るべき兩寄宿舍連合のクリスマスは廿三日午後六時より安藤坂寄宿舍に於て行ふ事に決定散會す。因に目下の寄宿生は納戸町三十五人、安藤坂卅一人。

▲●●●新入會　其後の入會者左の如し

（維持）アクネア夫人　（通常）内山美代子　村田とも子　櫻井靜野子　矢野　加藤李花

プール女學校青年會

私共は神戸に於る惠の集りと河井幹事が歸京の途次御立寄下されした事により色々の教訓を得て奬勵されたり。扨て紡績會社日曜學校も漸次進歩の有様にて此頃は社宅外の子供も熱心出席するものもあり只今はクリスマス祝賀式の爲め色々準備中にて皆様の隱れし御祈の結果と喜んで日々務めつゝあり。「女子青年界」に新らしき興味を以て毎月待ち兼ね居れり今日曜學校と祈禱會の事につき所感を申上ぐれば

紡績會社内日曜學校　は大坂市外なる一紡績會社構内にて職工の子供等の爲に早き頃より設けられたるものにて、集ふ六十餘名の小供等は彼等が家庭の内狀如何を殘りなく表し其の前途の程を寒心せしむる程なり。棒片を手々に振かざしつゝ敎室に入り來る有樣、「ますらをいさみて戰へよ」と歌へる折も後方にては風船玉のポン〳〵たる音騷しく漸くの事にて彼等を靜むれば今度は先生に背を向けて自由の談話會を開く。祈禱の時も出來得る限りの滑稽を演じ祈り終れば「アメ玉うまいた」(アーメン)にて結ぶ、流石の先生も呆然たらざるを得ず。組に分れば各々好む處を行ひて正面に向ける者は一人もなし、先生の質問に對して答ふる兒の言を遮りて四五人もドット我れ勝に叫ぶ。「問はれた人がお答へなさい」と云へば丁度云ひ合せた樣に默す。校長先生來り給へば又饒舌り立てつゝ有らん限りの惡戯をなし、先生が强ひて止め給へば恐ろしく抵抗の末一齊にワーイ〳〵と騷ぎて雲隱れす、下足場に到れば西洋の先生の靴に石等入れあるに氣付き驚きつゝ門口に出づれば何處よりとも知れず先の小供等集り來りて恐ろしき見幕にて私共の周圍を圍んで罵る聲と投付くる石や砂に送られて社宅の門を出づる時漸く虎口を逃がれし心地す。然れども神の御惠にて追々かゝる小供等の良き變化を見るにつけ御名の爲に播く種子の必ず刈入るべき時機あるを信じ我等は喜びて働きつゝあるなり▲**當校の祈禱會**　は月曜日には主として通學生の爲、金曜日の夕食後は寄宿生の爲なり、此祈禱會には一種の言ひ知れぬ靈氣滿ちて靜に跪く者をして祈るべく導く。或は九州、北海道、果ては世界の果に迄亘つた廣い而して厚い數へきれぬ願事と讃へ言を一つ心に捧ぐるも、何分定められた一時間にては全部祈る事は縱令一言としても不可能にて、而も祈の靈は滿ち溢れて止むべくもあらず刻一刻と迫り來るに堪え切れず、此方彼方に二人三人同時に聲をあぐるに至るを常とす。私達は此一週一度の祈會によつて新しき力を得て勇ましく働く事を得、月多くの卒業生、未だ救はれざる同胞、主の働き人、日曜學校、惱める人々に折にあふ力と慰めを賜はる爲に此祈の確かに與つて力ある事を信じ悦びに堪えず。而かも愛の神は不思議なるしるしをさへ與へ給ふて弱き我等を勵まし給ふ如何にしても祈らざるを得ず。(附記、司會者は靑年會員にして金曜日祈會を部長より豫告し前以て祈禱題を提出す、又祈の助を求むる者は金曜日朝迄に其題目を記して部長の許に出し部長之を讀むこととす)(栃本好枝、釜谷千壽報)

フエリス女學校靑年會

早くも秋過ぎて初冬の風肌寒く覺え候ぬ夏期講習會の溫かき夢未だ醒めやらず時々樂しき大津の里を思ひ出てゝ友と語り居候女子靑年會なつかしく慕はしく我耳に響き候、弱く力なく足らざる者なれどかゝる聖き事業の一端になりと一助を與へ得ば誠に幸と存候

今フエリス靑年會の模樣を少しく御通知申上候▲

●●集會　毎週木曜日午後一時間を祈禱會として課目中に入れ置き通學寄宿を問はず全校生之に列するやう定められ居候司會は正會員各自之が任に當り自由に

祈り讃美し又は感話をなし互に靈的修養を勵み居候又第三木曜日は特に笹倉牧師の奬勵を依賴致居候每月第二金曜の夕寄宿生の爲に夕陽會の如き集りをなし大家族の精神的生活を乞ひ願居候▲事業　我青年會の重なる事業は日曜學校にて七ケ所に之を有し居候平均五十人程の子供を持ち居候各所に二人づゝ或所は五人程敎師を用ひ居候之等敎師の爲には一週に一度日曜學校敎師會を開きミスカイパの敎導を仰ぎ居候▲事業支持金　一切の費用は會員の會費及勞力によりて得るものに候正會員參與員を問はず有志者は集會なき金曜の夕二時間を捧げて或は裁縫、細工物、洗濯などなして資金を得又賣物も利益もて本會事業を支持致居候近頃はミス林の精工なる細工物を造り北米に輸出して若干の金を得候本會の會計有望に候へば益々之が事業に盡し度候▲祈禱週　去月一週日を祈禱週として守り候が開會日は山手のミッションスクール悉く本校講堂に集り共立女學校杉本松江姉の司會の下に最も嚴かにして親密なる聯合祈禱會を致候大村益氏の御すゝめ有之候次日より放課後或敎場に有志者のみ集りて、萬國の爲に感謝祈禱を致候處每日滿員にて或時は席なく立てる人も少からず候ひき人の靈的に燃ゆる時は如何に高潔に候よ以後本會はフェリスが山手の岡高く東に美しき海を眺め西に氣高き富士を仰ぎ雜踏する市街を眼下に見下す如く常に淸く高き愛の神と共に步み神の事業の爲に奮鬪致す覺悟に御座候何卒本部及諸支部の熱き御同情と御指導とを仰ぎ度切に願上候（書記鈴木しげ子報）

●宮城女學校青年會

過般の祈禱週には每日十五分宛一定の時を得て會員中より司會者を選び極めて熱心なる祈禱會を催し候、最初の日はファオスト校長司會にて有益なる御講話これあり候ひき、正、准、名譽會員にて每日百四十名餘何れも極めて熱心と同情溢れ居り候負擔金も容易く集り申候其內取まとめ御送附申上候。

雜報

日本基督敎婦人傳道會社　今春組織されし同社は去る十一月廿九日東京女子學院講

堂に於て第一回總會を開き社長渡邊たつ子氏の事業報告『より大なる事業』植村正久氏『外國に於る婦人傳道の歷史』井深梶之助氏の演説ありラウダア夫人、千屋和、河井道子三氏の祝詞ありて散會す同會社は創立後日猶淺く會員も少く收入も僅かなれども其働は頗る見るべきものあり、なほ多くの計畫をも來る年に於て行はんと企られつゝある由。

●●●●●

禁酒演説會　十一月十四日夜富士見町教會に於て開會し堤友久氏は『恐るべき酒害の事實』と題し、

酒の中にはメチールアルコホルが含まれて居てそれが胃から吸收され血液に混じ身體に分布して酸素と化合し身體を組織する蛋白質を侵すこの變化が酔である故に身體は酒の爲に或程度まで組織を作り變へられるので丁度奈良漬となりし瓜の如きものである。而してアルコホルは第一に身體中最貴重なる精神中樞の腦脊髓を侵すのである飲だ時一時は臭や刺激の爲に快く感じ又アルコホルが神經を麻痺せしむるので疲勞を感じなくなるのであるけれども一度〳〵と其害は重るに從ひ大きくなり精神作用を失つて道德、美等の高尙な觀念は亡くなるかくて一旦身體に受し害は酔が恢復しても取かへす事は出來ず遂に恰も精神病者の如き狀態となる。此害は其一身に止らずして子孫にまでも害を殘す事なれば一層眞面目に其事實に注意して貰ひたい。

なほ多くの調査上の報告、及び身體各部に及ぼす害につき懇々説かれたり。

●●●●●

藝妓問題演説會　十二月十三日廓清會主催にて神田青年會館内にて藝妓問題の演説會催されたり廢公娼論は人口に膾炙すれども藝妓全廢は衆人の閑慢に附する處なるを今回の此擧あり我等女子は刮目して此大問題が日本全國に大影響を來らすを見んとす。

●●●●●

○ガッスリー大使　今度の米國大使ガッスリー氏は堂々たる政事家なる事は誰も知る處であるが氏が眞の基督教信者なる事に就ても世間が之を知る必要あると思はる。十一月下旬東京に於る有志者の歡迎會席上大使は簡單なる挨拶をされた如何にも氏が堂々たる基督教信者なる事が明白に現はれて居つた。其中に『英語の價値』に就て話された處に大要左の一節があつた。

英語の最も高尙なる宗教的意義を除いても文章として英文として聖書は最高位を占て居るものである。シエクスピヤー、ミルトンよりテニソンに至るまで皆聖書の詞に依て養はれて來た事は三歲の童子も知る處である。英語をよくするものは思想の別天地に出

入ができる。純潔、道徳心、向上心、道の充分に發揮し得る點は純粹の英文に於て見出される。故に諸君は之を己が物となし且之を應用する樣勉められたい。詞は貴いものであるミルトンが物言はなかつたらいくら思想があつても知る由なく我等に如何程損であつたか知れぬ。英語を善するといふのは決して詞のみに非ず深き思想を探り當る基である。又思想を探り當ても之を人道に當嵌なければ無益である。諸君はかゝる特點を持て居られる人が多いから、多く與へらるゝ者は多く要求されると思ひ御互に與へ又助くる精神を忘れたくないものである。今日此混雜せる世の中に於て人が與へられた大なる約束の成就を神は待つて居られる。吾々は其仕事に與り御助をなし得るだらうか云々。

各支部及會員諸姉へ

「女子青年界」は我女子青年會聯合の鏈鎖を以て任し各地青年會の狀況を掲載し相互に各地の模樣を知悉し氣脈を通じて相聲援し相勵み相進みて本會の發展を期したく存候につきては何卒各支部よりは細大洩らさず時々の御狀況御通信被成下度御願申上候。

又た本誌は會員諸姉の所說所感詩歌其他をも掲載して青年婦人の思想を發表する機關たらんことを望み候へば誌面の一部分を提供して其ために致度候勿論紙面に限りあれば載否は編輯者の意に御任せ下さるにの外なきも幸會員諸姉か御遠慮なく御投稿被下度希望仕候

（東京市牛込區田町三ノ十二日本基督教女子青年會本部編輯部）

讀者便り

○小部分なり共御助けせばなど思居候

甲府　富岡淸子

「女子青年界」月々御送り下され御芳志の程御禮申上候かゝる山間に暮し候身は何事も思ふに任せず神の御惠を思ひ信頼の生活によりて得候慰安を幸と存じ候に付ても又御奉公御奉仕の念胸に溢れ候まだその機を見出さず殘念に存じ候。微力、薄信の身には候へども諸姉の御働の極小部分なりとも御助けせばなどゝ思ひ居候が御許しあらばといのり居候私事只々信者の名折れとなり求道のさまたげとならぬ樣それが目下の大問題にて小さき心を亂し候。

○神は望に增して惠を與へ給ふ

神戸女學院　實生すぎ

かねて申上ました修養會の費用辨償、會の發展の爲に開きました演奏會の報告は掛員から御聞きになつた事と存じますが、どうぞ感謝して下さいませ神は望に增して惠を與へ給ひます一同大いに喜んで感謝致して居ります此學期終りに會員一同の爲慰勞會と兼ねて親睦會を致さうとして居ります。

○目に見ゆるものなら縋りつきたい

札幌　横澤つぎ

十二月七日日曜の夕方何故來ぬか〳〵と待ちこがれて居ました「女

子青年界」が到着し忙しい〱と云ひつゝもどうしても見ずに居られず先づ會説を拜見しました何だか自分の爲めに書かれしではないかと思ひし位でした。多分あの會説を見て心を打たれる人は多いでせう私も自分はその積りでなかつたのでも感じましたからこれから本當に眞の即ち眞心の贈物をしたいと思ひます本當に良い事を書いて下さいまして凡ての人の爲自分の爲感謝致しますまた雜誌をよく見ませんが井深先生やもう一人の方のお話を讀むのが樂しみです、此頃は舍が樂しみです生徒を心から愛してやる事が出來るのを感謝して居ます、クリスマスに信者を作らふと思ふて居ましたし其様な生徒があり色々話を聞いて見ましたが何卒キリストの愛、十字架を知り又全くキリストに從ふ事が罪を悔ゆるといふ様な中心點に觸れてくる様に祈ります、此が無くは受洗は無駄ですからと水曜日に高倉様が又お話して下さる事に成つて居ますそれにより力を受る事と思はれます、今日教會にて涙が譯もなく流れ出でキリストの前に平伏し度くなりました、此頃何時も涙が出ます意味は知りません、たゞ神を慕ふ事切に成り來る心地がされます「此に依りて我キリストの爲に懦弱と淩辱と空乏と迫害と患難に遭を樂しみとせりそはわれ弱き時に强ければなり」此句の如何にも眞理を穿ち自分に當嵌つて居る氣がします、キリスト教の外にこんなに眞理をよく言ひ表はして居るものが又とあらふかと思ひます、色々の事に出合ひますが出合ふと增々神なつかしくこひしくなりましてでに思ひます、是も確かに色々の試の爲と思ひ私は神にもつと〱近寄り離れぬ様もつと〱試をも善用するやうにと心から思ひました。

○私は神様の義勇兵です

大坂　川島耶榮

私は神様の義勇兵ですからどんな事が御座いましても只生死共に主の御爲に勇ましく戰はうと存じて居ります、私は眞に喜の日を送つて居ります、私は眞に世の何物も要りませんたゞ敬愛し奉つてやまぬ大主　御ため此身と靈を捧げ奉り度いとそれのみ祈つて居ります、私はパウロの様に「わが兄弟の救はれん爲にはわが亡びに行くも又願ふ處なり」ほどの熱心を持つて居ります、縱令私が亡びましても神の御國の建設の爲で御座いますなら私は嬉しう御座います、勿論神様は愛の神様で御座います絶對的愛の神様で御座いますからそんな事は遊ばしませんけれども。

○宅は大變開化した様な氣がします

伊豆三島　渡邊すみ

雜誌二回ほど參りました誌中には加藤高子様の初航海の事次は又着後の事、實に〱面白く拜見致しました如何にも此田舍に居りまして渡米致した様な心地が致して一同で御噂致して居ます、姫百合の手紙や加藤様のやらにてよく外國の様子が解り宅は大變開化した様な氣が致します、私の様に用事の時には大急ぎにて他人へ出ましても立派なお方のお話を伺ふとかには少しも他へ出た事は無いので世間の事を全く存じませんから子供に御誌を讀ませて之から榮しく聞きます有難う御座いました。

○其肋骨より出る日の早からんを祈居候

北海道　藤田とき

當地メソヂスト教會内に先日男子青年會の生れ候ひし事故女子青年會も其肋骨より出づる日の早からん事を祈り居候、私は自分が御會に

入會せし以上は何か働けるか、高女の生徒達とも多く知合となりし故に彼等を集めて讃美歌を唱ひ或は聖書の一句も味ふ事も出來やう、場所を如何にして定めんか、學校に入れて他の妨げとなりはせぬか等考へて居ります、「女子青年界」の讀者は其内にまとめて御知らせ申可く候。

○規則二三部御送りいたゞき度

臺灣臺北　大谷槇子

當地女子青年會の事一向よき御報申上兼ね恐入候なほ先日は雜誌數部御送り下されありがたく御禮申上候御望の方々に御分け致し候が代金は如何致して宜しく候や記入の七錢にて宜敷く候や兎に角伺ひてと申置候間御手數乍ら承り度なほ規則二三部御送り頂き度婦人會の方々とも御相談致し出來るだけ御手傳申上度存候、內地は最早餘程御寒く相成候はん當地は冬は誠に樂に御座候寒き日には可なりに感ぜらるゝ事も候へ共天氣宜しければネルに羽織はなくても宜しき程にて候、クリスマスも近づき嘸かし御事多く居らせられ候ならん御身體の上に御働きの上に神の御祝福豐かならん事を陰ながら祈り居候。

○思召して下さると信じて喜で居ります

臺灣嘉義　桑原満佐子

自分自ら何日も出來得る限り修養に心掛け主人と共に日々神樣に奉仕て居りますが、何日でも靈的に饑渇を覺て居りました、今度諸先生方よりの力ある御講話をうかゞひ此うゑを癒されし心地が致しました何卒受けし教を實行しようと自分で心に誓ひ又神樣の御助を祈りつゝ心がけて居ります、私は神樣が特別に此島に住む人々を思召して下さる事を信じて喜んで居ります、瀬尾樣の御讓樣には此前の日曜の禮拜から教會へ御出席になり始めました、誠に嬉しく存じます、又此度橫濱の毛利先生、東京の外村先生、臺北の大谷牧師方が當嘉義に御光來下されまして開會せし集會には皆樣よく御出下され、或る上流の方は一家擧て御いで下されました、慥に主が彼の方々の上に働き給ふを信じて感謝に堪えません、青年會會友を伺々心がけて居ります、又會費はまとまり次第送ります、御雜誌誠に有益に拜見してゐます有難う御禮申上ます。

編輯より

▲一陽來復先づ明けまして御目出たう存じます。本誌も茲に十一卷の春を迎へまして、更らに新らしき計劃も發展も致したいと存じて居ますが、青年女子の精神靈性の向上のために至誠と全力を注ぎたい年來の宿願は、一層適確にこの新年に於て實現したいと存じます。顧みれば、前途に橫はれる諸種の問題は吾人の解決に待つものが多いので、どうか、同志諸兄姉の御同情によつて本誌の所期を完ふし得るやう御援助を賜らんことを、今更らながら懇願する次第で御座います。

▲誌面の改善も、思ひながら意の如くならぬに心を焦つて居ますが、追々讀者の數も殖へ、彼是と誌面の御批評やら御註文やらを承るにつけても、自ら責任を感じて出來るだけは致したい覺悟で、先づ來月號からは、一時休掲して居た『聖書研究』欄を復舊して、本年中に完結する豫定で、ミス、マクドナルドの『馬可傳研究』を掲載し始めます。其他諸種の方面に心を配つて假令紙面は狹くて紙數は貧弱でも記事は即ち豐富て多趣てありたいと苦心して居ります。歩一歩、其苦心や空しからざりしを認めていたゞく時が遠くはないであらうと樂しんで居ります。

▲來月號には右『馬可傳研究』の外、本號掲載ものゝ續稿は勿論木村德藏先生の『青年女子と共に』前號より引續き掲載すべき筈なりしも紙面の都合にて本號に缺きたるミス、グリスウオルドの『衞生談』六合老人の『六合座談』『クオバヂス』の所感募集其他起稿依囑中のものなど、追々と誌面を飾る光彩たるべく信ぜられます。

▲玆に謹んで敬愛する諸者各位の御健勝にして御多幸なる新年ならん事を祈り上げ奉ります。

●會友申込（本部報告）

西澤スミヱ

○雜誌「女子青年界」代金領收

金七拾錢　青山女學院青年會
金七拾錢　長崎良子
金壹圓　愛波よし
金參圓七拾一錢　共立女學校青年會
金拾錢　中野文子
金參拾五錢　東門千代子
金貳拾錢　木村篤野
金四拾錢　市原つや子
金七拾錢　増澤とし
金貳拾錢　矢野氏
金壹圓　長島幸代
金壹圓四拾錢　小谷つや
金七拾錢　玉置悦子
金七拾七錢　相川ます
金七拾錢　大熊はる
金七拾一錢　關口かつよ
金七拾錢　杉山孝子
金七拾錢　栗田みさ

○會費領收

金三拾五圓　ミス、ウエスト
金貳圓　ミス、アンブルスター
金貳圓宛　ミス、ソール　ミス、ダムス　ミス、イドハフ　ミス、モルトン　ミセス、ドンラップ　ミス、ウイルカックス
金貳圓　ミス、フアイオック
金壹圓五十錢　ミス、ドレッセイ
金貳圓　ミセス、ワルーマン
金貳圓　ミセス、ネールチエン
金貳圓　ミス、ペーヂ
金五圓　ミス、アンドリウス
金貳圓　ミス、シアプレス
金貳圓　ミセス、ロビンソン

金二圓 ミス、ホワイト
金貳圓五十錢 ミス、キラム
金貳圓 ミス、キャメル
金貳圓 ミセス、デフオレスト
金貳圓 ミス、デフオレスト
金五圓 ミス、スミス
金貳圓 ミス、アズバン
金貳圓 ミセス、ルーミス
金貳圓 ミス、ルーミス
金貳圓 ミセス、グリース
金貳圓 ミス、ハーグレーブ
金貳圓 ミス、コール
金壹圓 相田茂樹
金貳圓 ミセス、ウオーターハウス
金貳圓 ミセス、ライシヤラー
金五圓 山田千代子
金貳圓 河井道子
金貳圓 ミス、レーガン
金貳圓 西澤スミエ

金貳圓 ミス、パマレイ
金貳圓 ミス、アスグド
金拾圓 ミセス、メーヤー
金五圓 ミセス、ピーク
金貳圓 ミス、ペイツ
金貳圓 ミス、トリストラム
金五圓 ミス、ロイネッド
金參圓五拾五錢 ミス、クリッテイス
金貳圓 ミス、モーガン
金貳圓 ミス、ホルセイ
金貳圓 ミセス、ニコデモス
金貳圓 ミス、マカーラン
金貳拾圓 ミス、ベーカー
金貳圓 ミセス、ヘッレッド
金參圓 伴田愛子
金貳圓 ミス、クレメント
金貳圓 ミセス、フイッシヤー
金參圓 ミス、ハート

○萬國基督教女子青年會負擔金領收

金壹圓九拾貳錢 青山女子手藝學校青年會
金壹圓五拾錢 女子學院青年會
金壹圓 札幌女子青年會
金參圓四拾錢 プール女學校青年會
金四圓四拾四錢 青山女學院青年會
金參拾六錢 盛岡女子青年會
金壹圓〇四錢 傳道女學校青年會
金貳圓 フェリス女學校青年會
金參圓五拾六錢 神戸女學院青年會
金貳圓七拾四錢 女子英學塾青年會
金六圓參拾八錢 ウヰルミナ女學校青年會
金拾貳圓 東京女子青年會

特志醵金

金壹圓八拾錢 共愛女學校
金參拾錢 石井咲子

新玉の
年の始の御壽
目出度申納候

大正三年一月元旦

日本基督教女子青年會
編輯部一同

大正二年十二月廿八日印刷納本
大正三年一月一日發行

部數	定價(郵共)	海外
一部	金七錢	金十一錢
十二部	金七拾錢	金壹圓廿四錢

廣告		
一頁	金六圓	
半頁	金三圓五拾錢	
中段	金貳圓	
一行	金貳拾錢	

發行所　東京市牛込區田町三丁目十二番地　日本基督教女子青年會

編輯兼發行人　東京市牛込區田町三丁目十二番地　河井道子

印刷人　東京市芝區櫻田和泉町七番地　鈴木吉次郎

印刷所　東京市芝區櫻田和泉町七番地　三成舍

National Committee

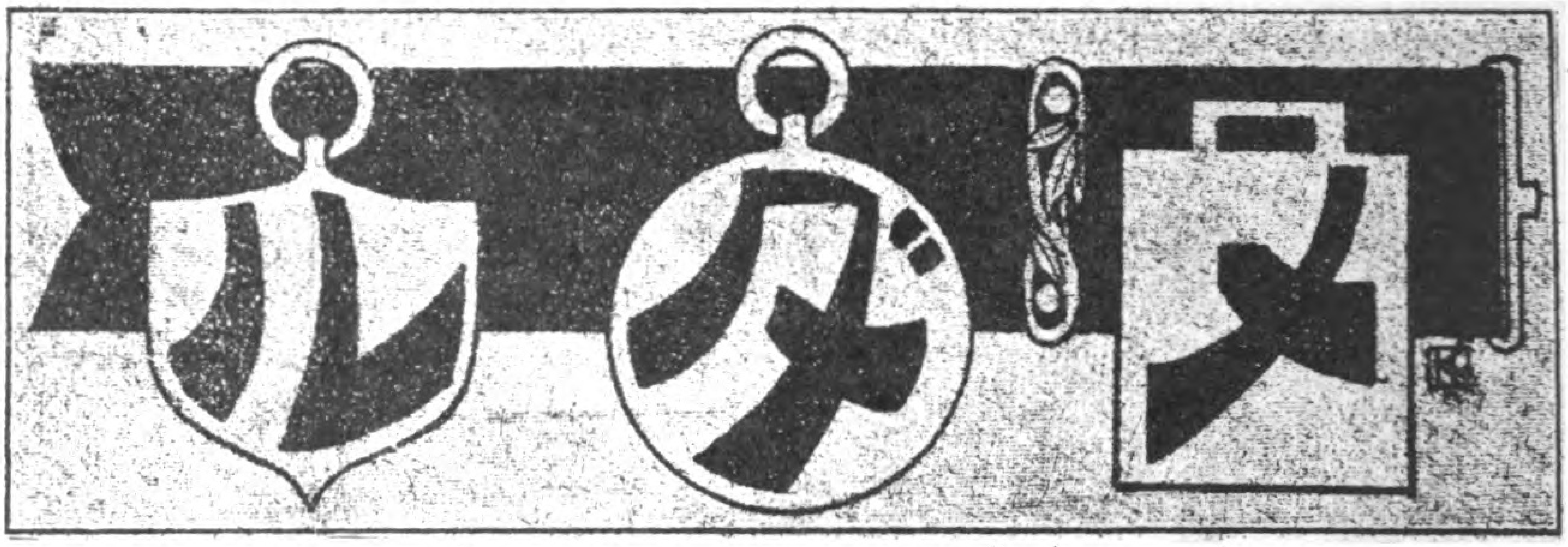
Headquarters. 12Tamachi Sanchome, Ushigome, Tokyo

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Tami Mitani, Secretary
Dr. Tomo Inouye, Treasurer
Miss Michi Kawai, Active Member World's Committee
Miss Matsu Okonogi, Editor "Joshi Seinen Kai"

Resident Members	Non-Resident Member
Miss Ume Tsuda	Madame Asa Hirooka, Osaka
Miss A. B. West	Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss Uta Suzuki	Miss M. F. Denton, Kyoto
Miss Kita Hasegawa	Miss Michi Matsuda, Kyoto
Miss Sarah Ellis	Miss Yoshi Kajiro, Okayama
Miss Chiyo Yamada	Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. E. W. Clement	Miss Susan Searle, Kobe

Secretaries

Miss Michi Kawai, Nationa
Miss A. C. Macdonald, National,
Miss Ruth Ragan, National Office
Miss Margaret Matthew, on Furlough
Miss G. R. Watney, Acting General, Tokyo
Miss Mary Page, Acting Associate, Tokyo
Miss Tei Ninomiya. General, Yokohama



徽章。賞牌。
金銀本盃。
製造。

東京麹町區飯田町四丁目
諸官省各學校御用

赤田末吉

電話番町二九二八
振替貯金東京一八一五九

技術精巧。期日正確。
價格低廉。

KAWAMOTO

KAWAMOTO

FINE EGG-SHELL
PORCELAIN
BREAKFAST,
TEA COFFEE &
DINNER SERVICES ETC.
BEST QUALITIES
WITH SMALLEST PRICES
18 HONCHO, YOKOHAMA.

瀬戸物(陶器)ナラバ
横濱本町ノ
川本陶器店
電話三二一六〇番

本館の技巧は天下既に定評あり。夜の宴會、集會等人物撮影は得意とする所に候

寫眞

横濱市中村町一六九

深澤寫眞館

館主　深澤次郎

隨時
出張
撮影
仕候

毎年女子青年會夏期修養會を始め諸學校諸集會の御用命を承り居候

本號に限り　新年特別號　郵税共金十

唯一唱歌雜誌　月刊樂譜

樂譜目次

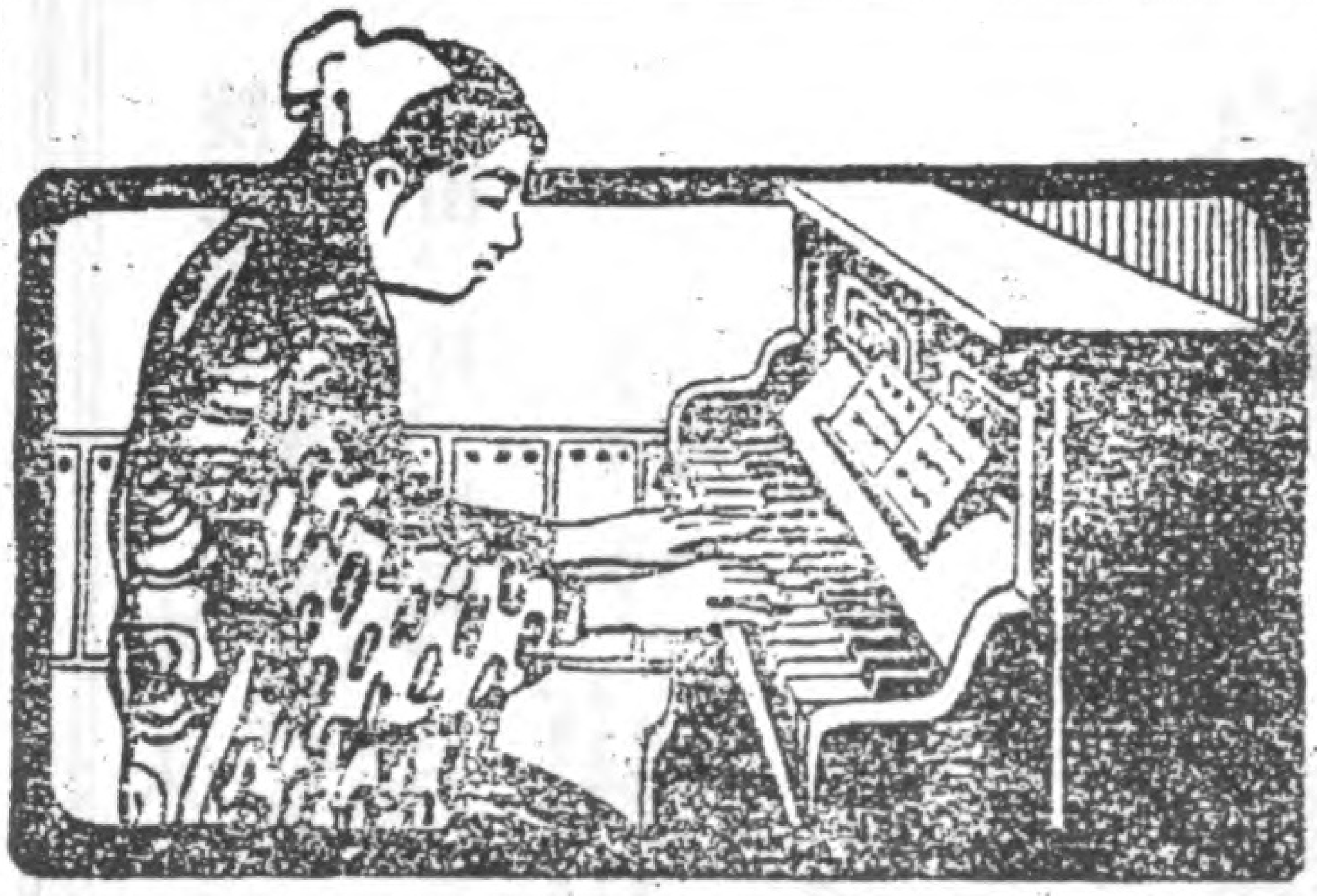
社頭の杉（御題唱歌）〇一月一日（伴奏曲）
新年の歌（單音唱歌）〇園生の遊（單音唱歌）
歡樂の曲（重音唱歌）〇四季の美（重音唱歌）
餅つき（學童歌曲）〇追羽根（童唱歌）

讀物目次

〇現代泰西音樂家列傳
〇本邦新進音樂家列傳
新年樂想（山本主筆）世の家人家の來訪（同人）聲樂者の心得（高折夫人）今後の樂壇（高折周一）西洋の新年（木村學士）歌劇バタフライ（高折夫人）祝祭日の唱歌（老敎員）

壹冊　金五錢
半ヶ年稅共金卅錢
一ヶ年同　金五十五錢
二ヶ年同　金一圓

東京銀座
松本樂器合資會社
振替東京一三五〇五番



西洋樂器　松本樂器合資會社

獨逸オツトピアノ　金六百圓以上。　獨逸ホーマアイアピアノ　金五百五拾圓以上。
松本ワグネルピアノ金貳百八拾五圓。松本實用ピアノ　金貳百貳拾五圓。
松本オルガン　金拾八圓以上。　舶來、和製ヴアヰオリン　金貳圓以上。
其他西洋樂器幷に樂書多數持合有之候間何卒御用命の程奉願上候（目錄進呈送料貳錢）

東京銀座
振替東京一三五〇五
電話京橋二二九八

生徒募集

普通學部（修業五ヶ年高等女學校程度）

家政學部（修業三ヶ年新校舍計畫中）

兩部共尋常小學卒業者は無試驗にて一年へ入學許可

文部大臣指定

私立

女子聖學院

東京府下

瀧野川中里

山手線駒込

驛ヨリ約三丁

高等家政學部（修業一ヶ年入學資格高女卒業者）

音樂裁縫和洋割烹專修隨時入學許可

家庭的寄宿舍の設あり

AMERICAN BIBLE SOCIETY

TELEGRAPHIC ADDRESS "BIBLES YOKOHAMA"

謹賀新年

横濱米國聖書會社

本社では日、英、獨、佛、支那、朝鮮、其他各國語の淸書を澤山取揃へて居ります、製本も種々あります。

■インデア、ペーパー、エデションの聖書が日本て始めて出來ました、第一薄くて、輕く、印刷は鮮明であります。

日本て始めて出來た

■インデア、ペーパー、エデションの聖書!!

六號活字 小形引照付新約全書 【一枚折皮金縁 金壹圓參拾五錢】

横濱市山下町五十三番地

米國聖書會社

振替口座東京一八四一〇番

治療時間 自午前九時 至午後五時

米國齒科醫 山村楳次郎

東京市京橋區山下町十八番地

電話 新橋 二千二百八十四番

新春に適はしき御進物

根本正先生著
日々の力
定價 小、布四十錢 郵税六錢
大、布五十錢 郵税八錢

碧川企救男氏著
野百合
定價二十五錢 郵税四錢

堀口翠巒氏著
家庭清話
定價二十五錢 郵税四錢

荒畑もと子女史著
曉天
定價二十錢 郵税四錢

渡邊房吉氏著
青春の危機
定價三十五錢 郵税六錢

古谷新太郎氏著
はなしの園
定價二十五錢 郵税四錢

三浦泰一郎氏著
星影
定價三十五錢 郵税四錢

根本正先生著
歐米貧兒出世美談
定價二十五錢 郵税四錢

常識涵養に最適切なる書

.50 sen each

Brewster	Great Writer of America
Brewster	The Writing of English
Carpenter	Comparative Religion
Dickerson	Climate and Weather
Farmer	Plant Life
Findlay	The School
Ciles	The Civilization of China
Harrison	Ancient Art and Ritual
Habson	The Science of Wealth
Keith	Human Body
Mercies	Crime and Insanity
MeDongall	Psychology
Pollard	The History of England
Russell	The Problems of Philosophy
Soddy	Matter and Energy
Somerville	Agriculture
Thomson	Introduction to Science
Trent	Evolution of Plant
Wedmore	Painters and Painting

東京 教文館 銀座

女子青年界第拾壹卷第一號

大正二年十二月廿八日印刷納本　大正三年一月一日發行　明治卅七年五月七日第三種郵便物認可